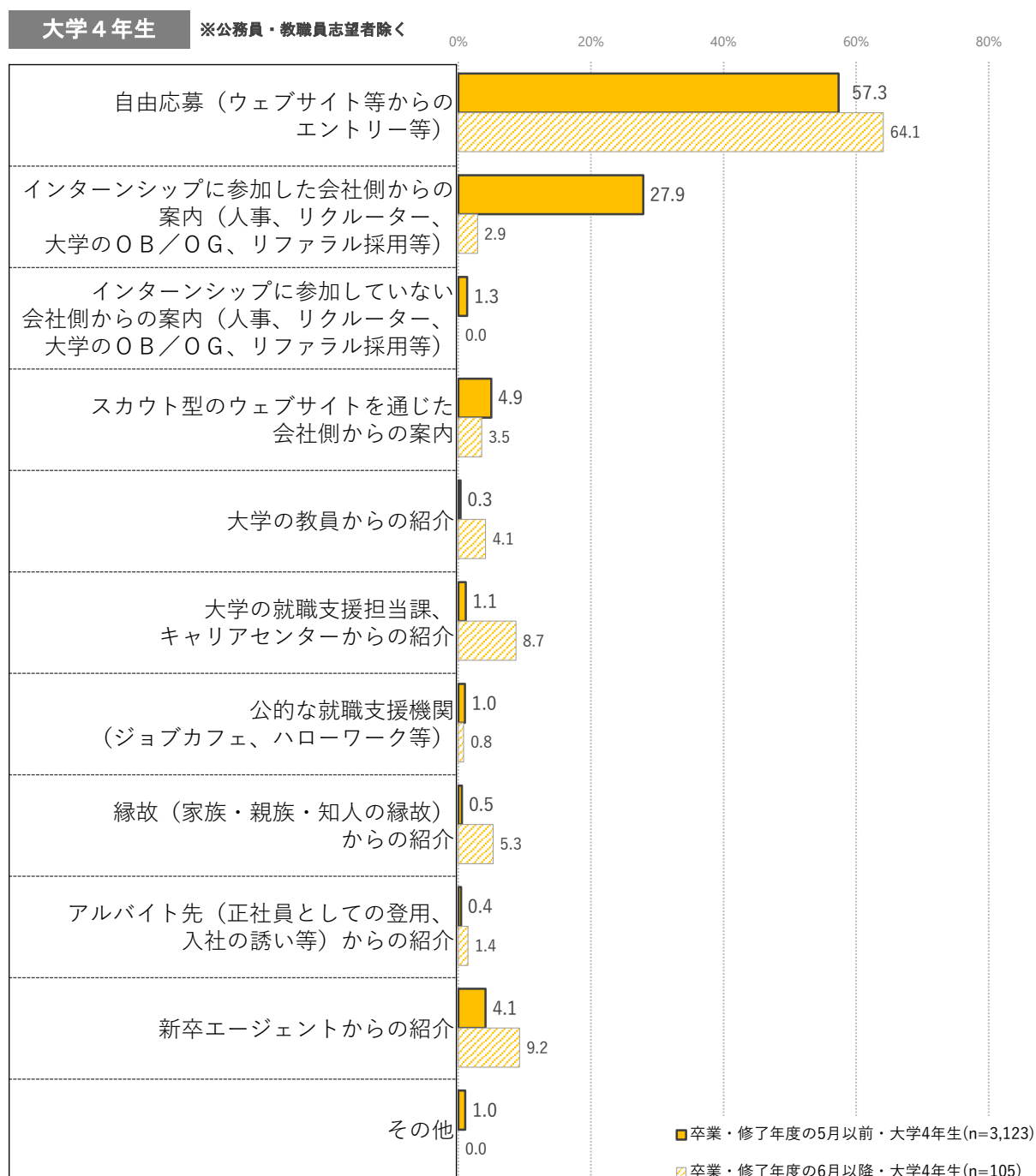
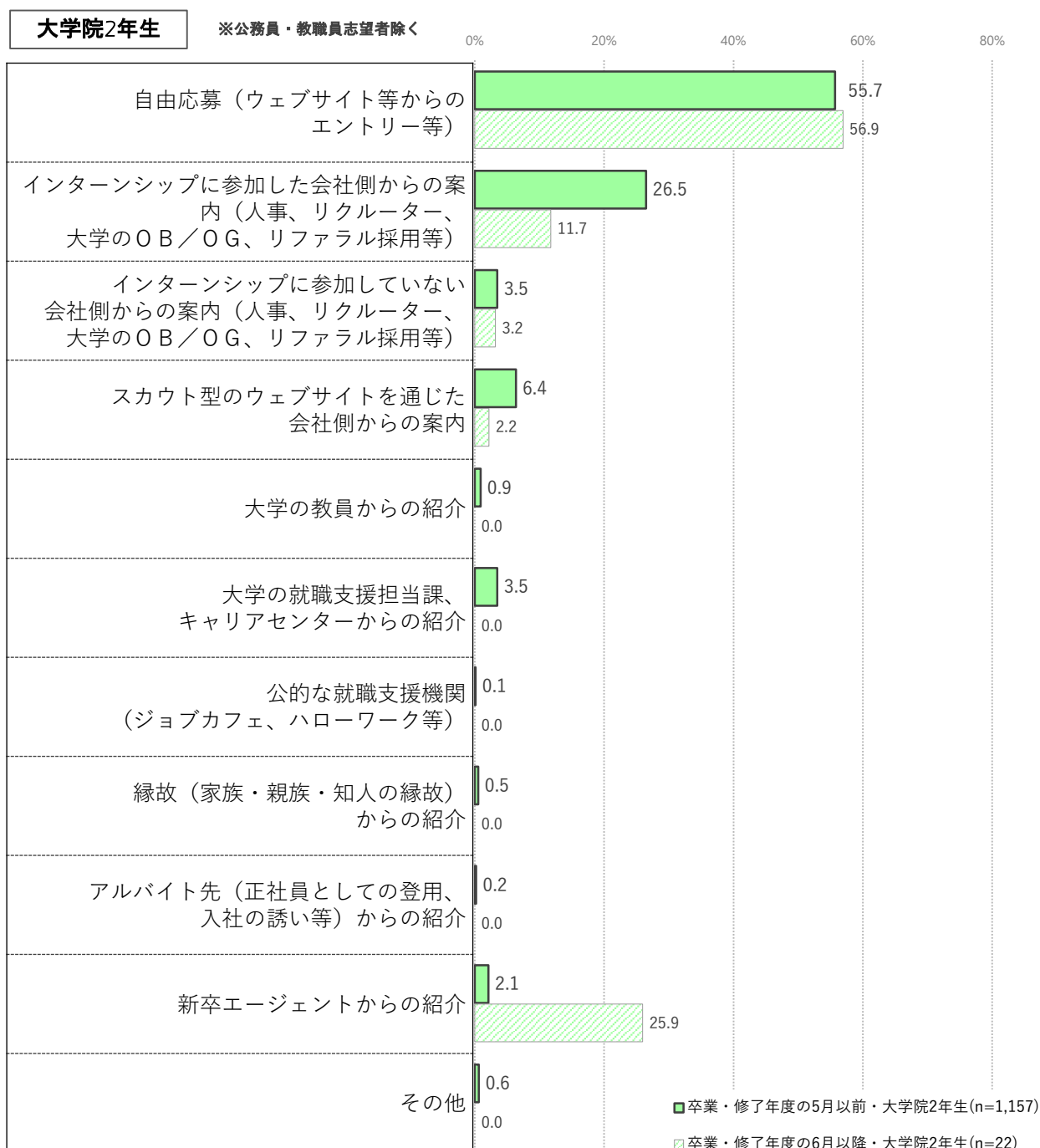


⑦最初に受けた「面接」の企業の経路



⑦最初に受けた「面接」の企業の経路



第五章 新型コロナウイルス感染症による就職活動への影響について

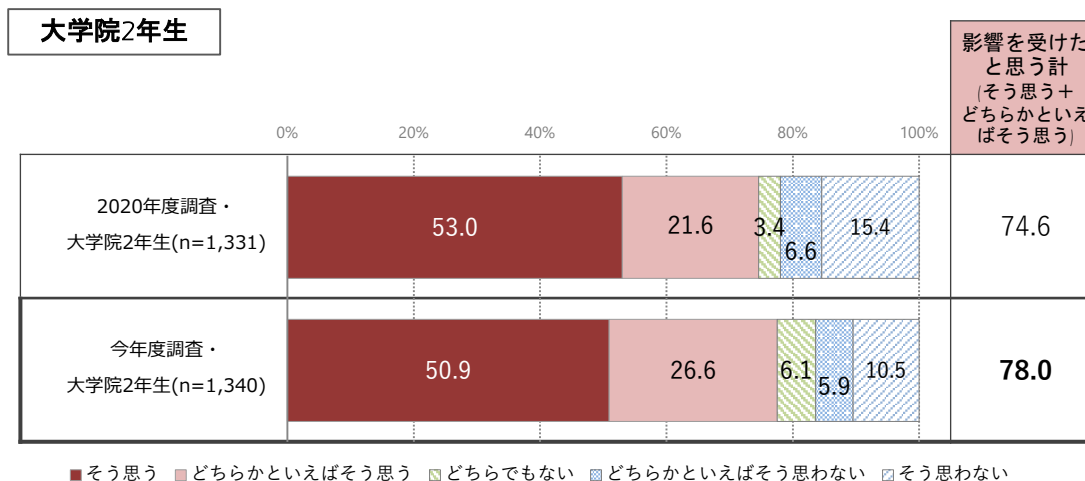
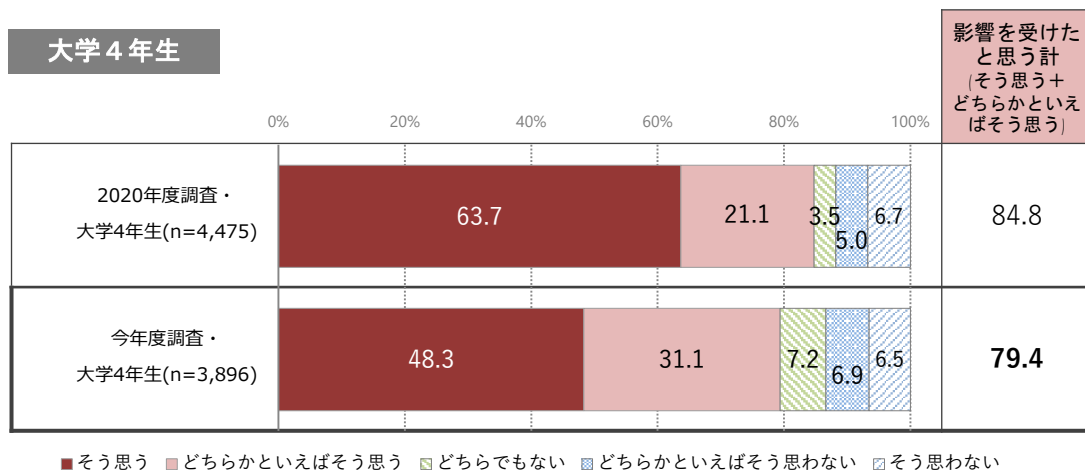
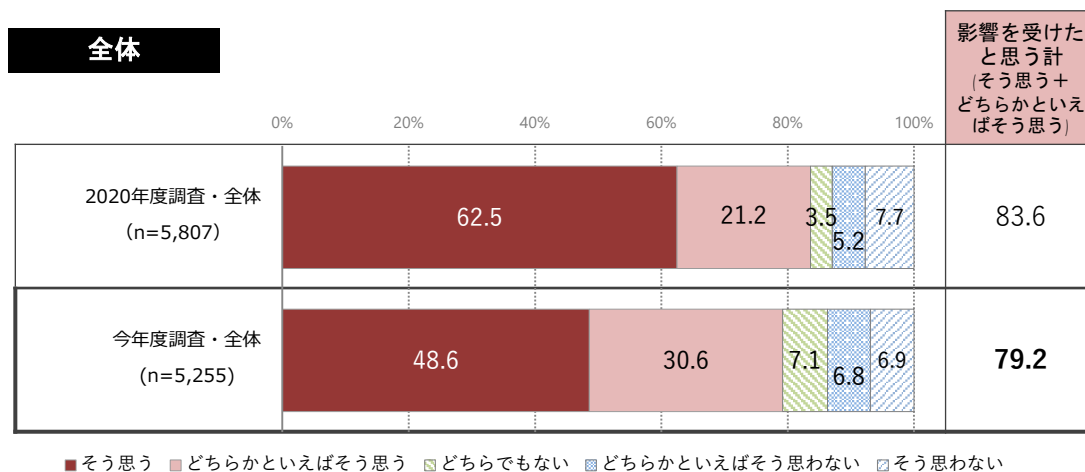
第五章 新型コロナウイルス感染症による就職活動への影響について

(1) 就職活動全般に対する新型コロナウイルス感染症の影響

①就職活動全般について新型コロナウイルス感染症によって影響を受けたと思うか

就職活動全般について、新型コロナウイルス感染症によって影響を受けたと思うかについて、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合は約8割となっている。

2020年度調査と比較すると、「そう思う」とする割合が低くなっている。



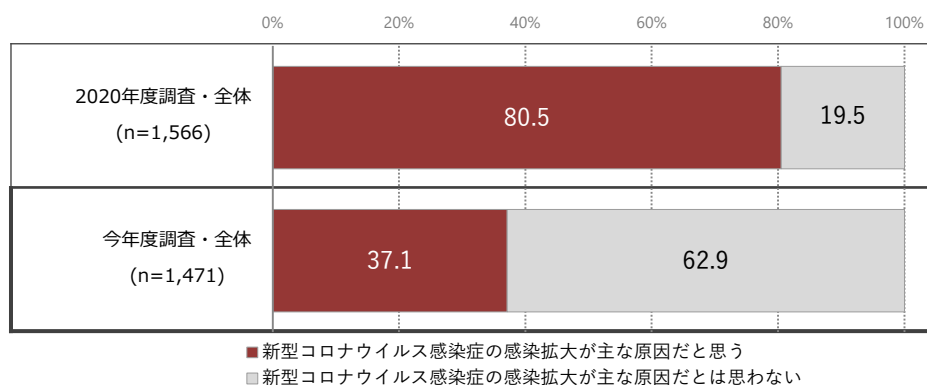
②学生が就職活動の予定をたてるのが難しかった原因と新型コロナウイルスの関係

どの時期にどのような就職活動をするか予定をたてるのが難しかったことについて、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大が主な原因だと思う」と回答した割合は、約4割となっている。

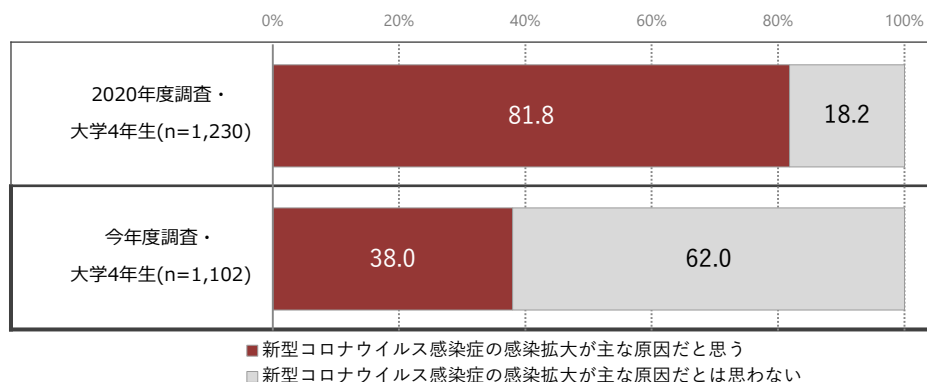
2020年度調査と比較すると、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大が主な原因だと思う」とする割合が大きく低下している。

※就職・採用活動時期に関し、昨年度と同様の時期に設定されたことについて、「どの時期にどのような就職活動をするか予定をたてやすく準備・行動ができた」に対して、「どちらかといえばそう思わない」、または「そう思わない」と回答した者のみを集計対象とした。

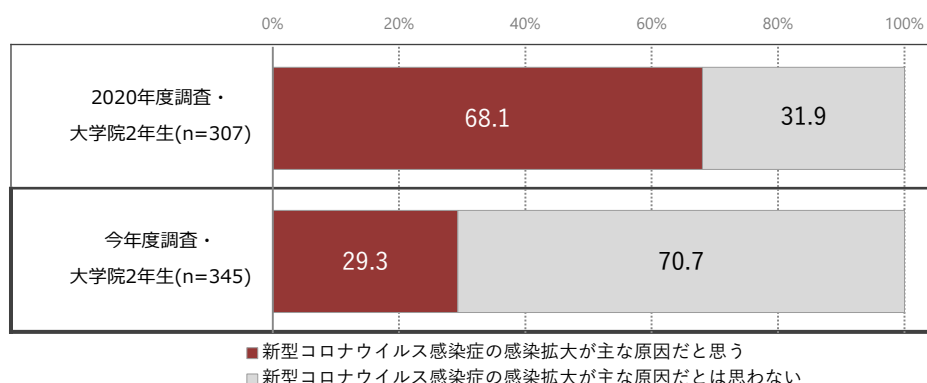
全体



大学4年生



大学院2年生

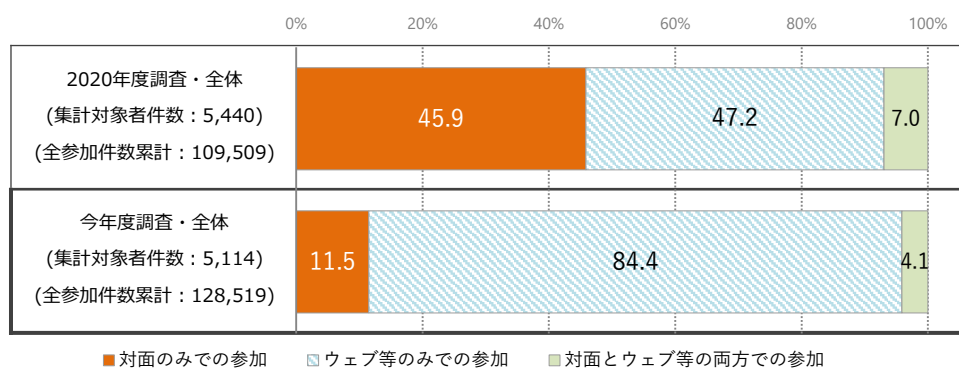


(2) 就職活動における企業説明会・セミナー参加への新型コロナウイルス感染症の影響

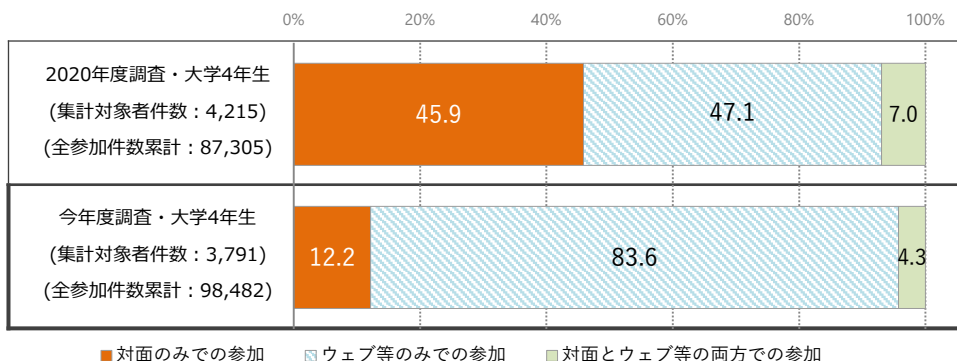
①企業説明会やセミナー等の参加方法について

企業説明会やセミナー等について参加した方法別のすべての企業数を累計※1し、参加方法別の件数が占める割合を集計したところ、「ウェブ等のみでの参加」が約8割と最も多く、「対面のみでの実施」は約1割となった。2020年度調査と比較すると、「ウェブ等のみでの参加」が高まっている。

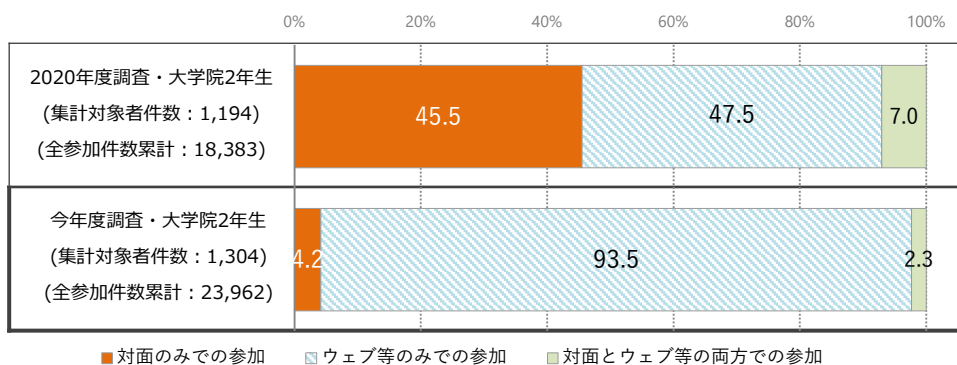
全体



大学4年生



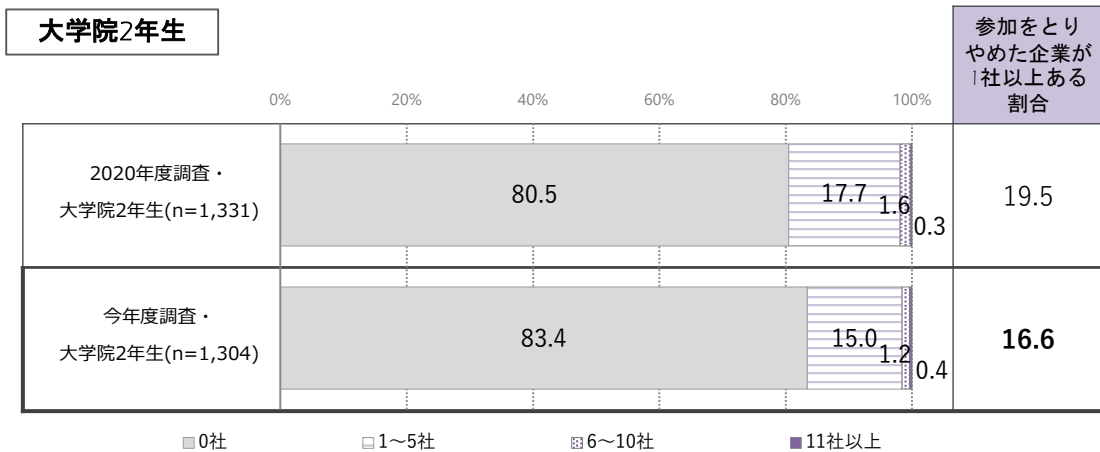
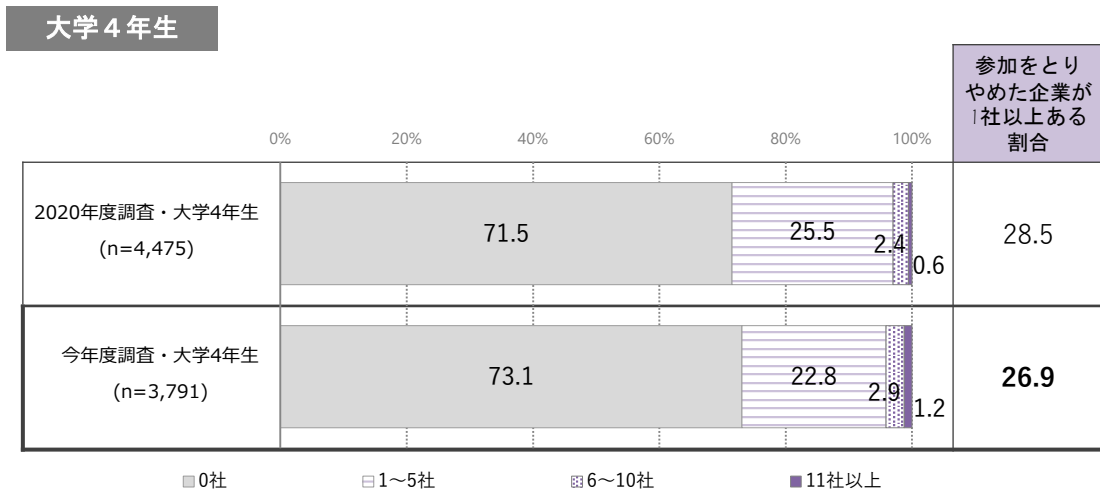
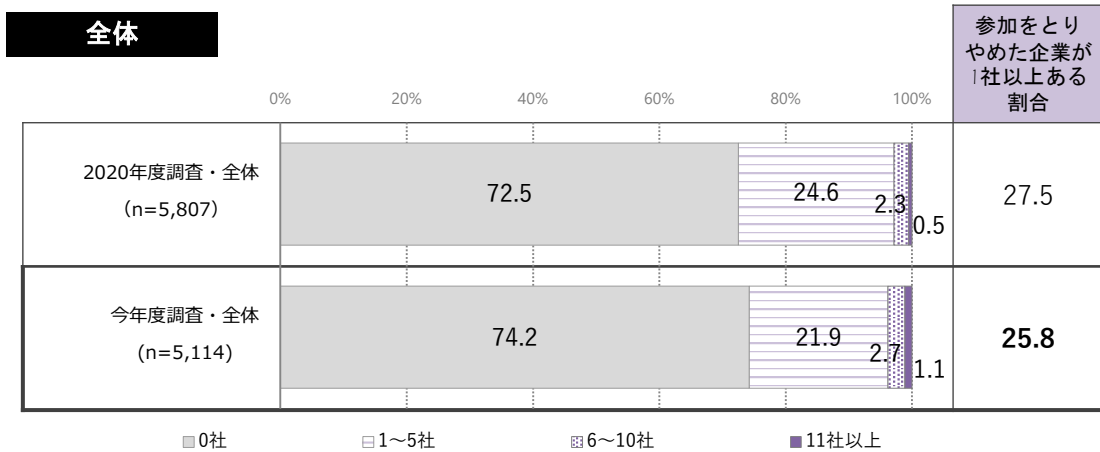
大学院2年生



※1：今年度調査においては、合計で何社の企業説明会やセミナー等に参加したかを尋ねる設問と、対面での参加、ウェブ等での参加の方法別に尋ねる設問を設けているが、前者の「参加した合計の企業数」と後者の「方法別で尋ねた企業数」の合計は必ずしも一致せずとも回答が可能なように設定したことから、前者ではなく後者の合計を用いて累計の値とした。

②対面で実施されることが理由で参加を取りやめた企業説明会やセミナー等の企業数

参加を予定していた企業説明会やセミナー等で、対面で実施されることを理由として、自ら参加を取りやめたものについて、1社以上と回答した者が約3割となっている。
2020年度調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。

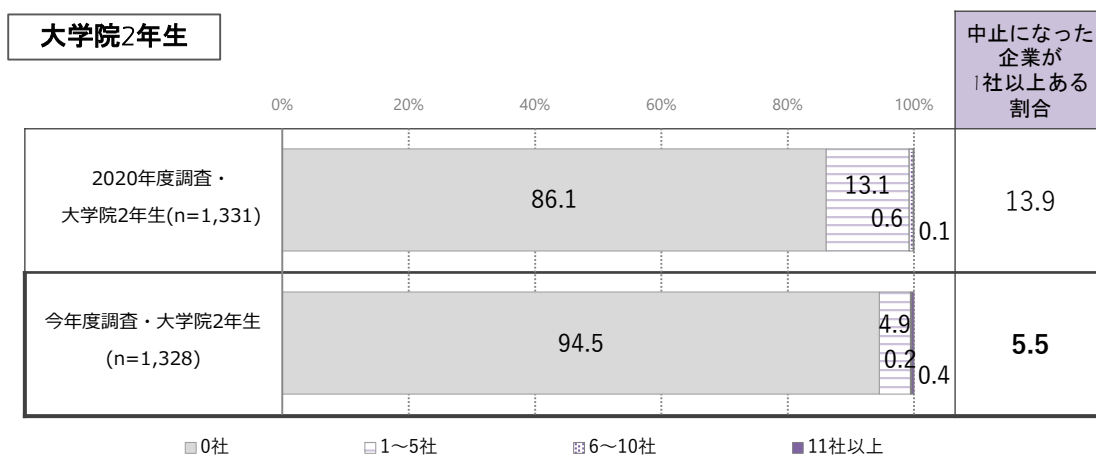
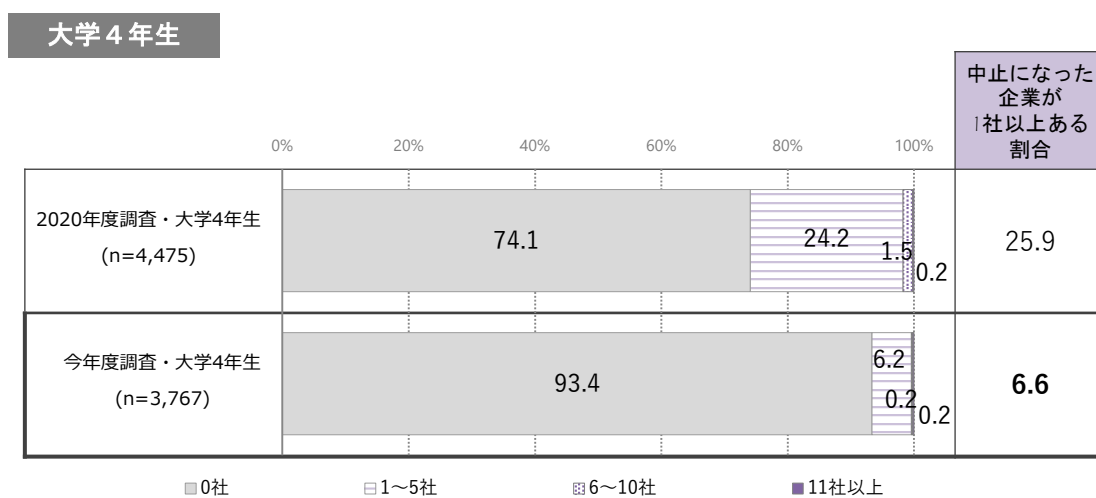
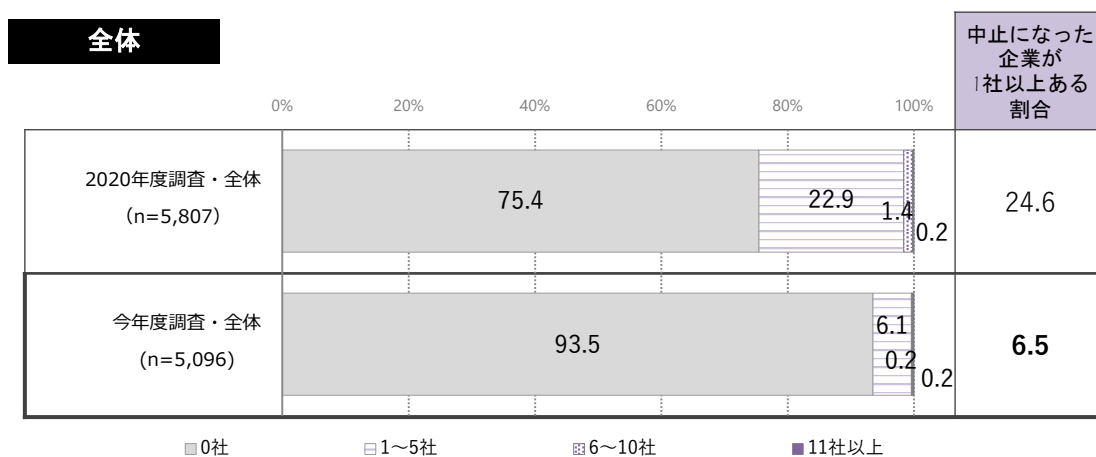


(3) 就職活動におけるエントリーシート提出への新型コロナウイルス感染症の影響

①エントリーシートの提出を予定していたがエントリーの受付が中止になった企業数

エントリーシートの提出を予定していた企業で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、エントリーの受付が中止になったものについては、1社以上であった者が1割以下となっている。

2020年度調査と比較すると、1社以上であった者が低くなっている。



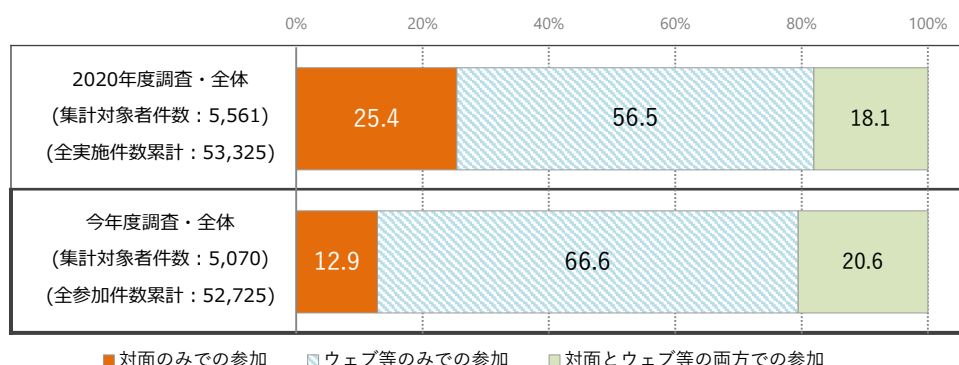
(4) 就職活動における採用面接への新型コロナウイルス感染症の影響

①採用面接の参加方法について

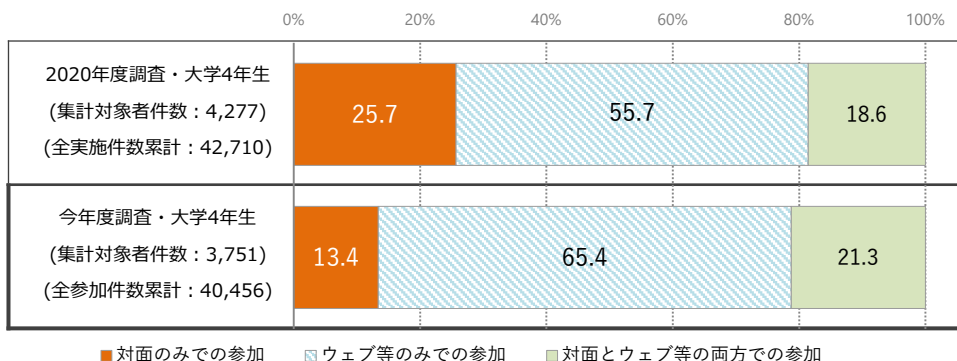
採用面接について実施された方法すべての企業数を累計※1し、実施方法別の件数が占める割合を集計したところ、「ウェブ等のみでの実施」が最も多く約7割となっている。

2020年度調査と比較すると、「ウェブ等のみでの参加」が高まっている。

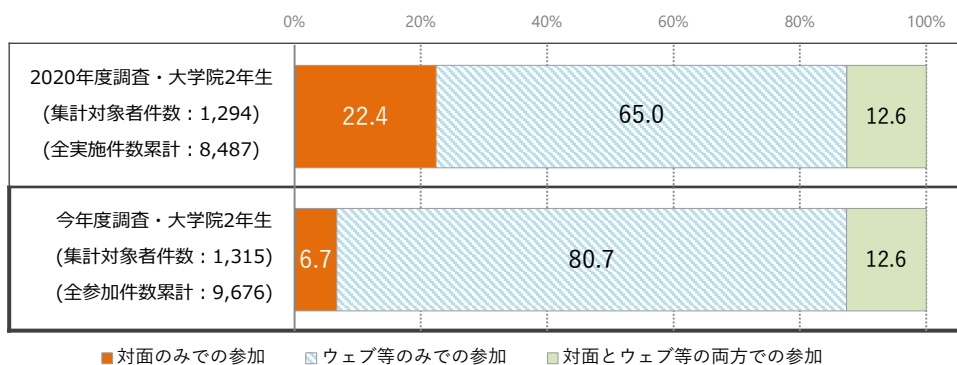
全体



大学4年生



大学院2年生

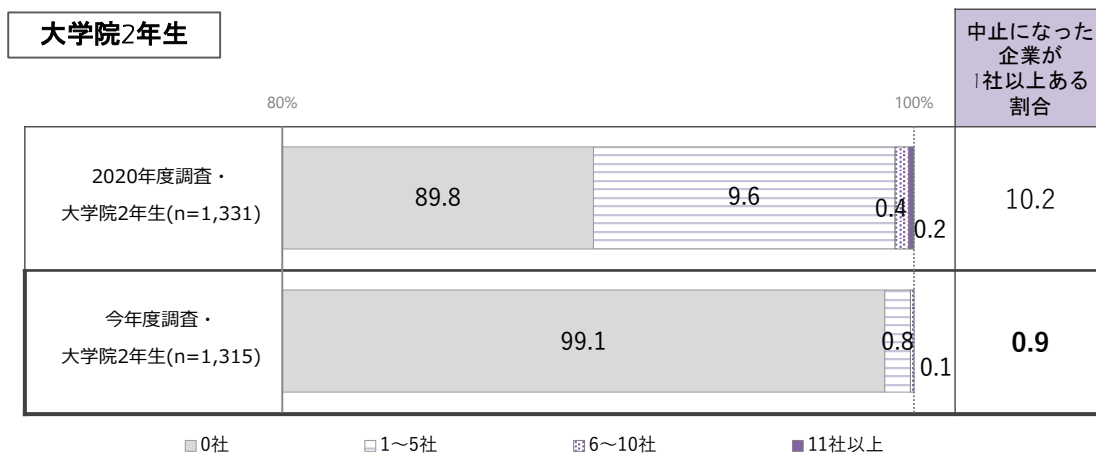
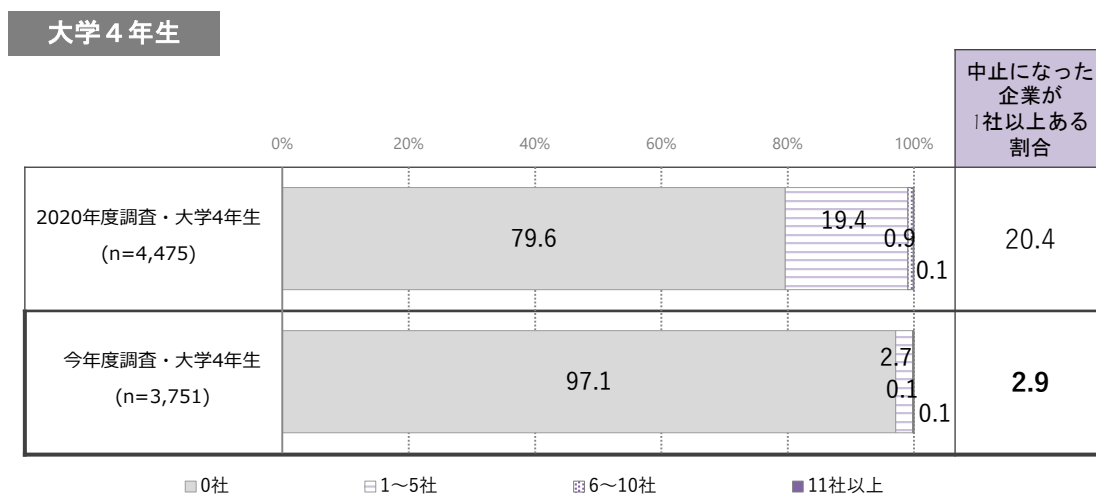
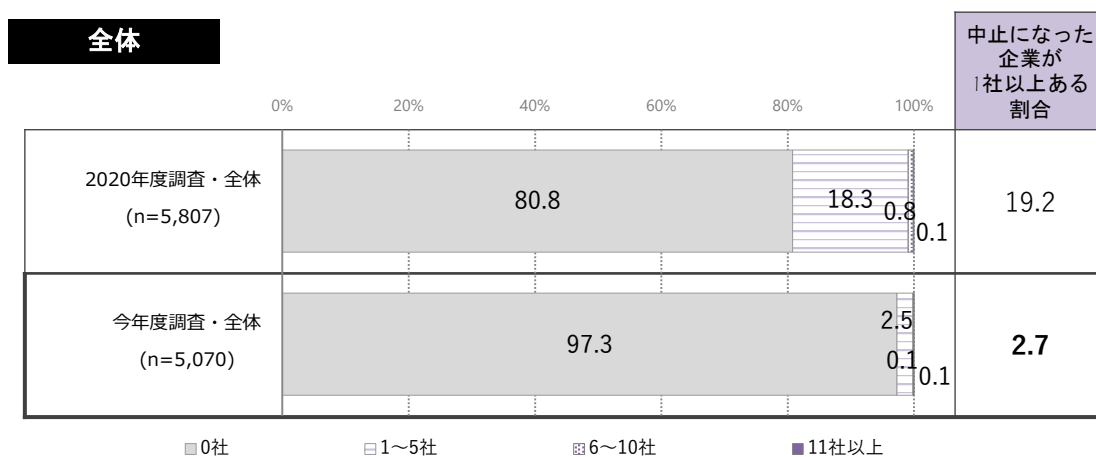


※1: 今年度調査においては、合計で何社の採用面接を受けたかを尋ねる設問と、対面での実施、ウェブ等での実施の方法別に尋ねる設問を設けているが、前者の「実施された合計の企業数」と後者の「方法別で尋ねた企業数」の合計は必ずしも一致せずとも回答が可能なように設定したことから、前者ではなく後者の合計を用いて累計の値とした。

②受けることが予定されていたが実施が中止になった採用面接の企業数

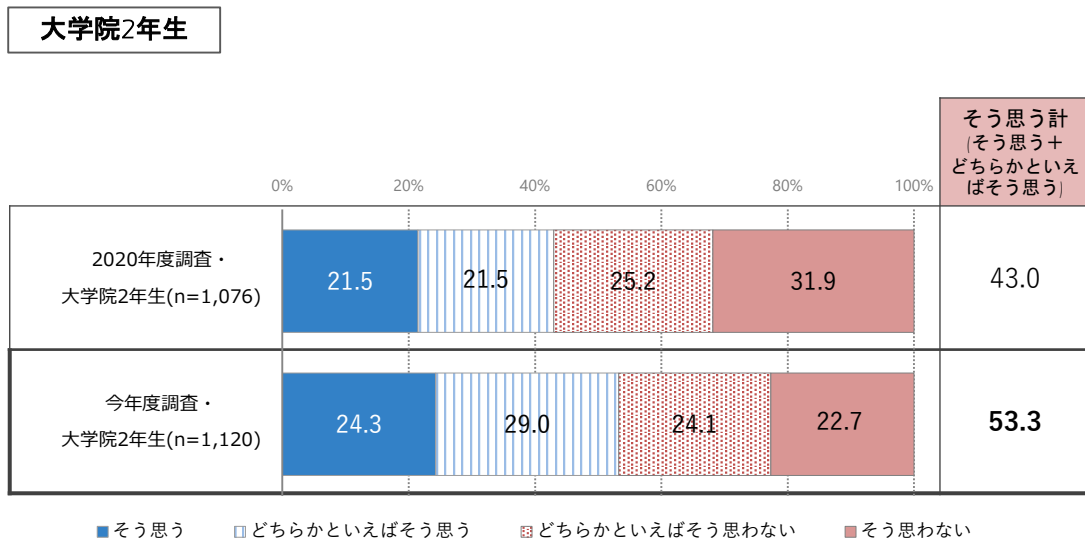
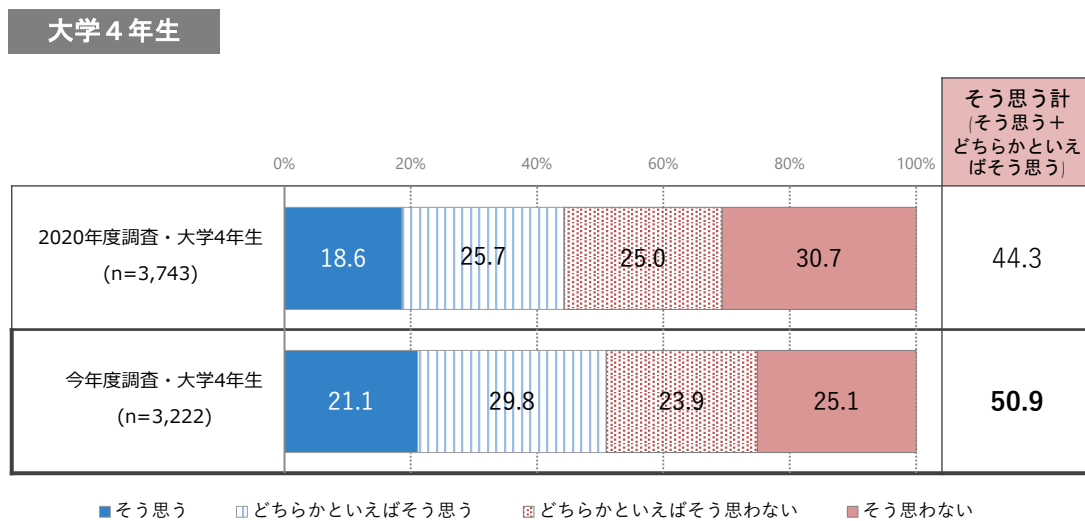
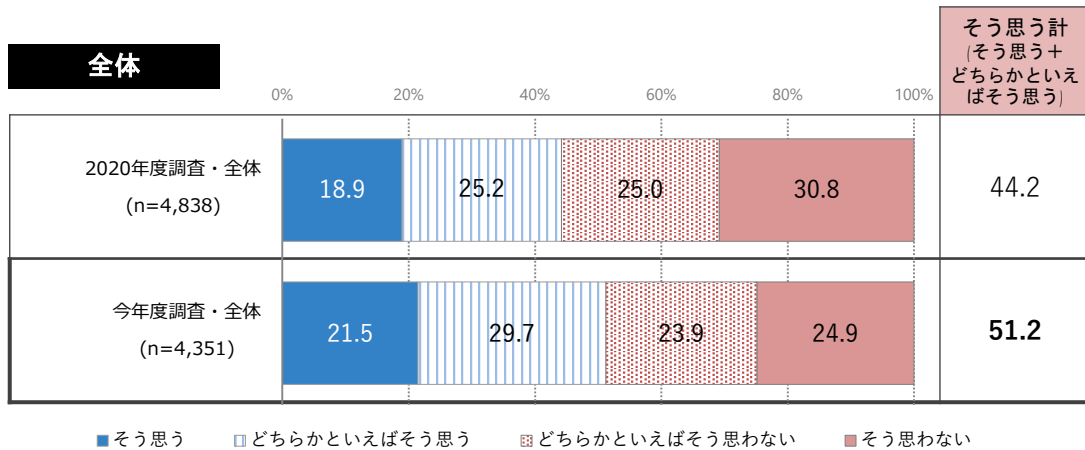
受けることが予定されていた企業の採用面接で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で実施が中止になったものについて、1社以上であった者が3%程度となっている。

2020年度調査と比較すると、1社以上であった者が低くなっている。



③秋採用や通年採用などに関する企業の機会提供や情報発信の状況

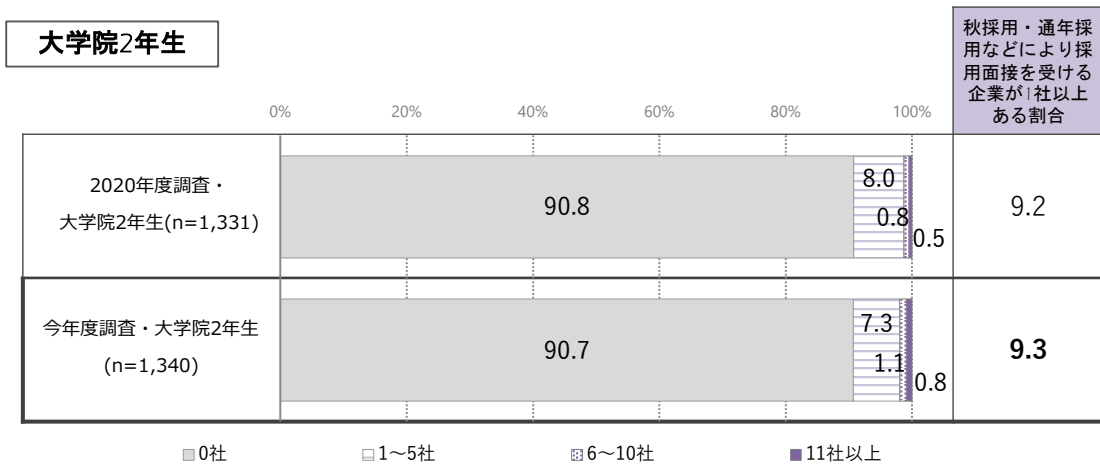
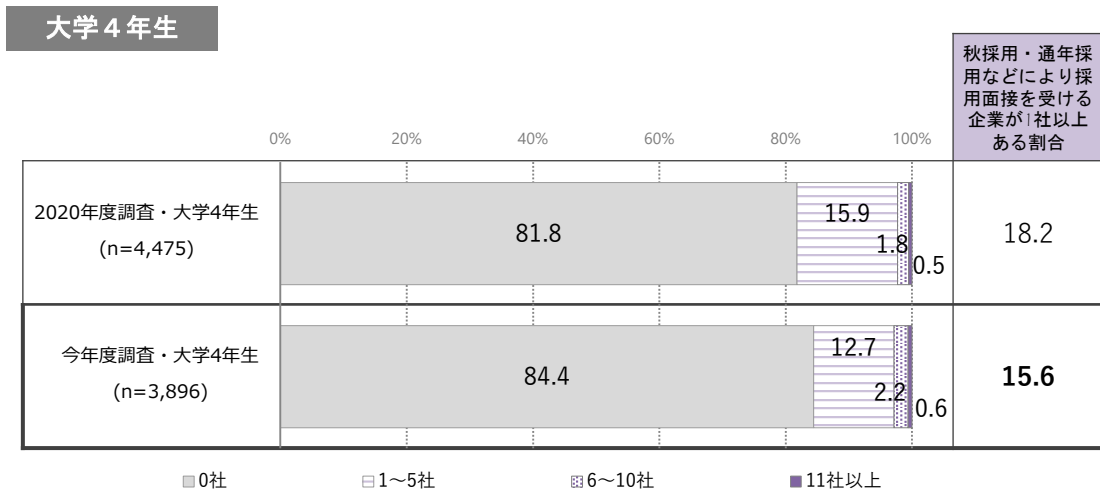
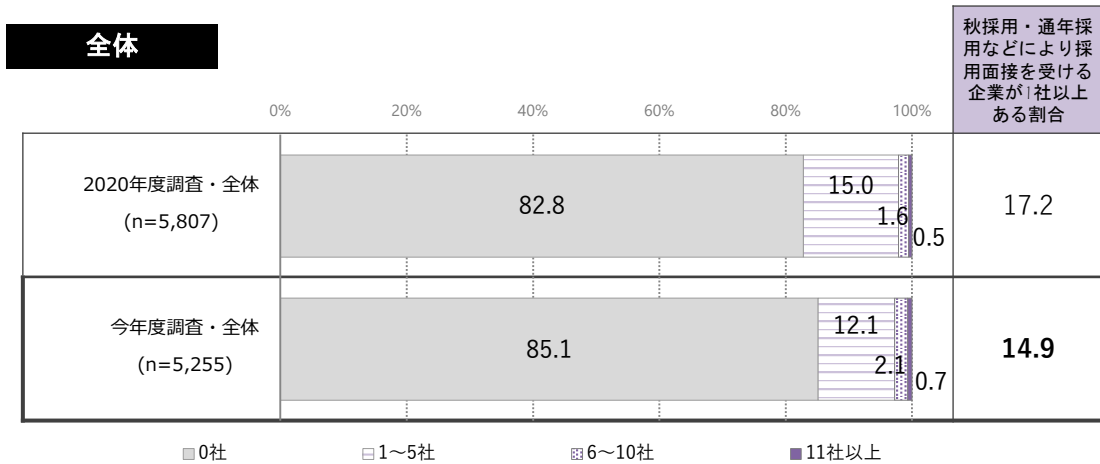
秋採用や通年採用などといった機会の提供や情報発信が企業からされていたかについて、「わからない」と回答した者を除くと、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合は約5割となっている。2020年度調査と比べると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合が高まっている。



④秋採用や通年採用などによる採用面接の予定

秋採用や通年採用などの実施により、今後採用面接を受ける予定の企業数について、1社以上である者が約1割となっている。

2020年度調査と比べると、ほぼ同様の結果となっている。

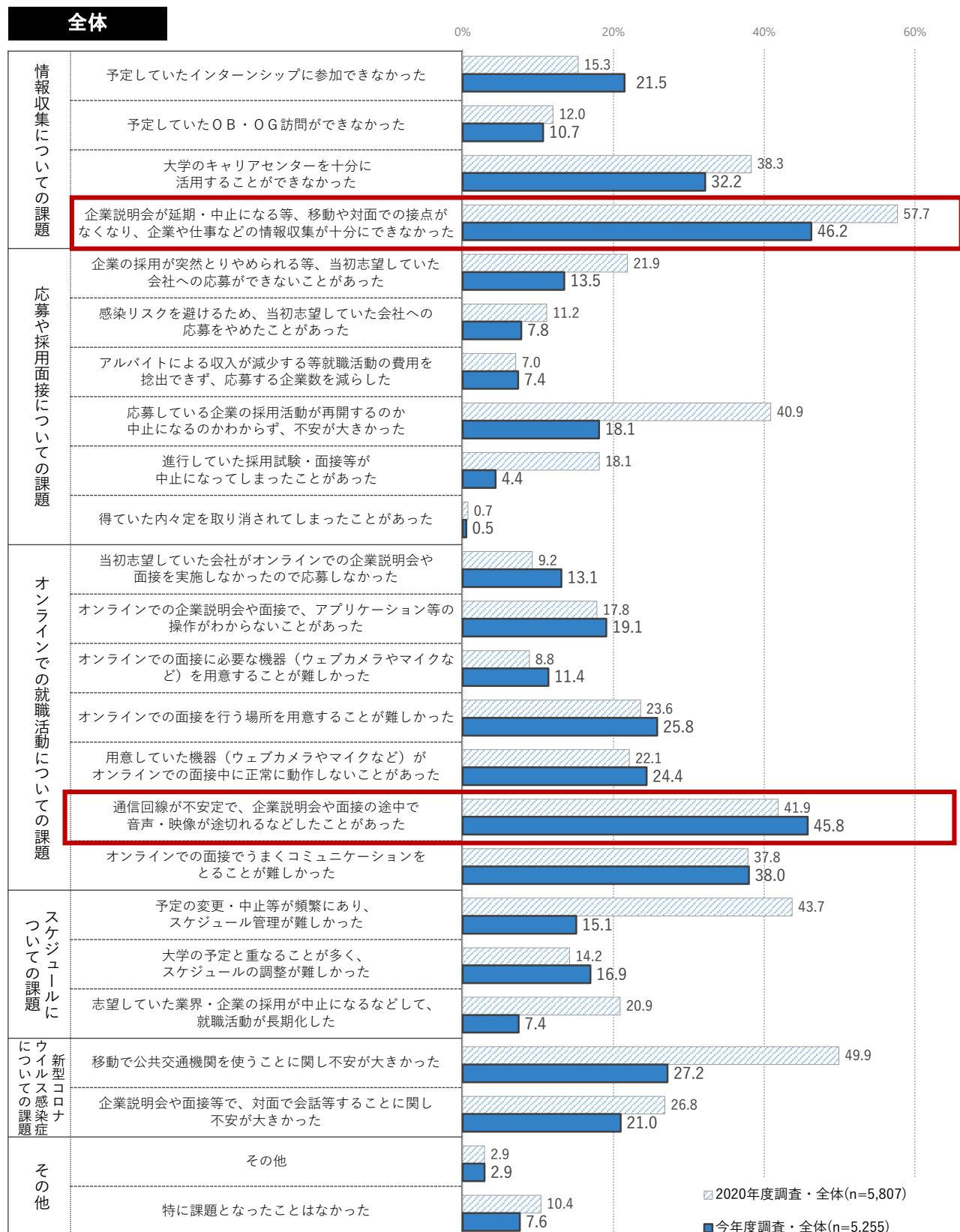


(5) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による社会的な変容と就職活動の関係

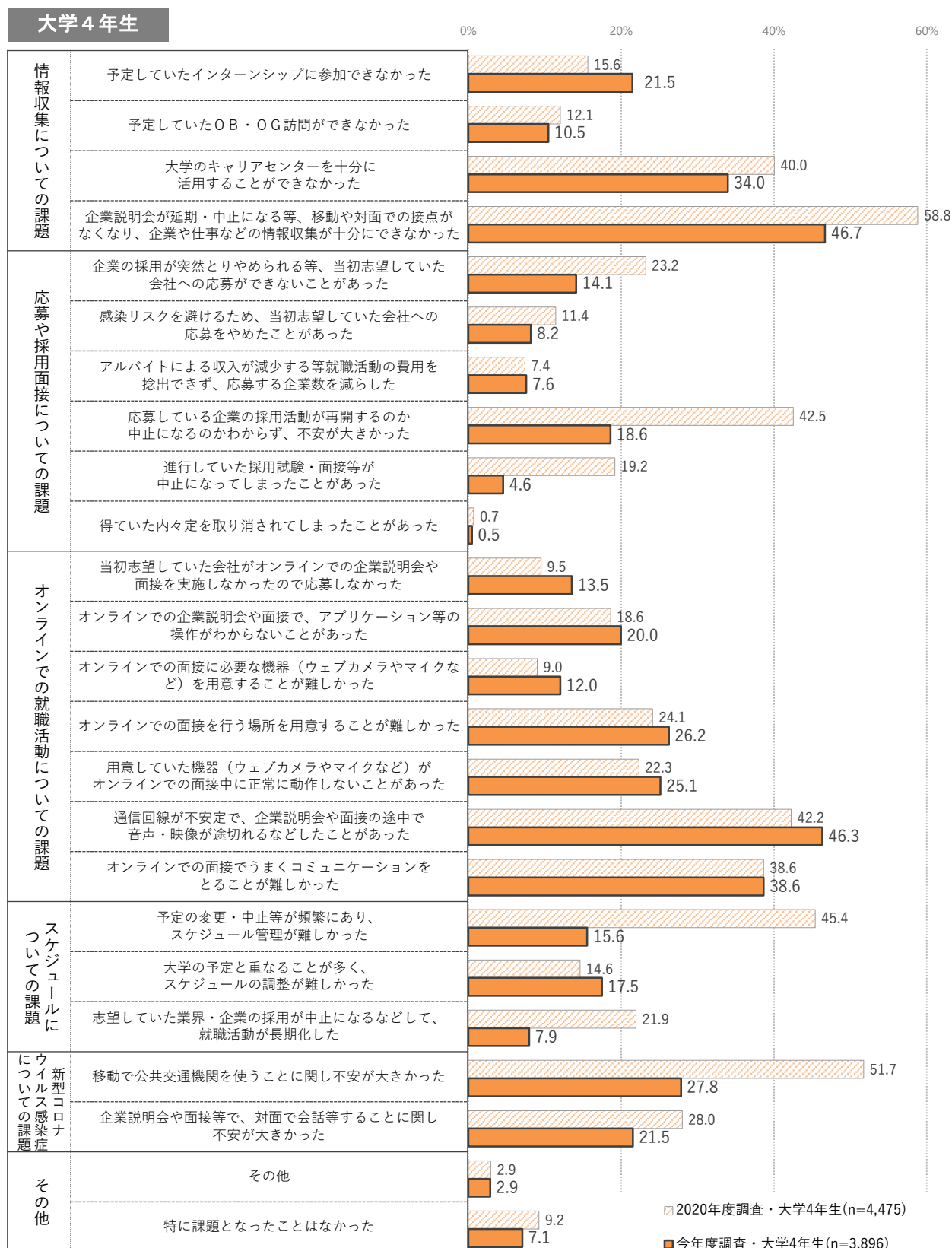
①就職活動に関する新型コロナウイルス感染症による課題

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、課題になったこととして、「企業説明会が延期・中止になる等、移動や対面での接点なくなり、企業や仕事などの情報収集が十分にできなかった」、「通信回線が不安定で、企業説明会や面接の途中で音声・映像が途切れるなどしたことがあった」の回答割合が約5割と高かった。

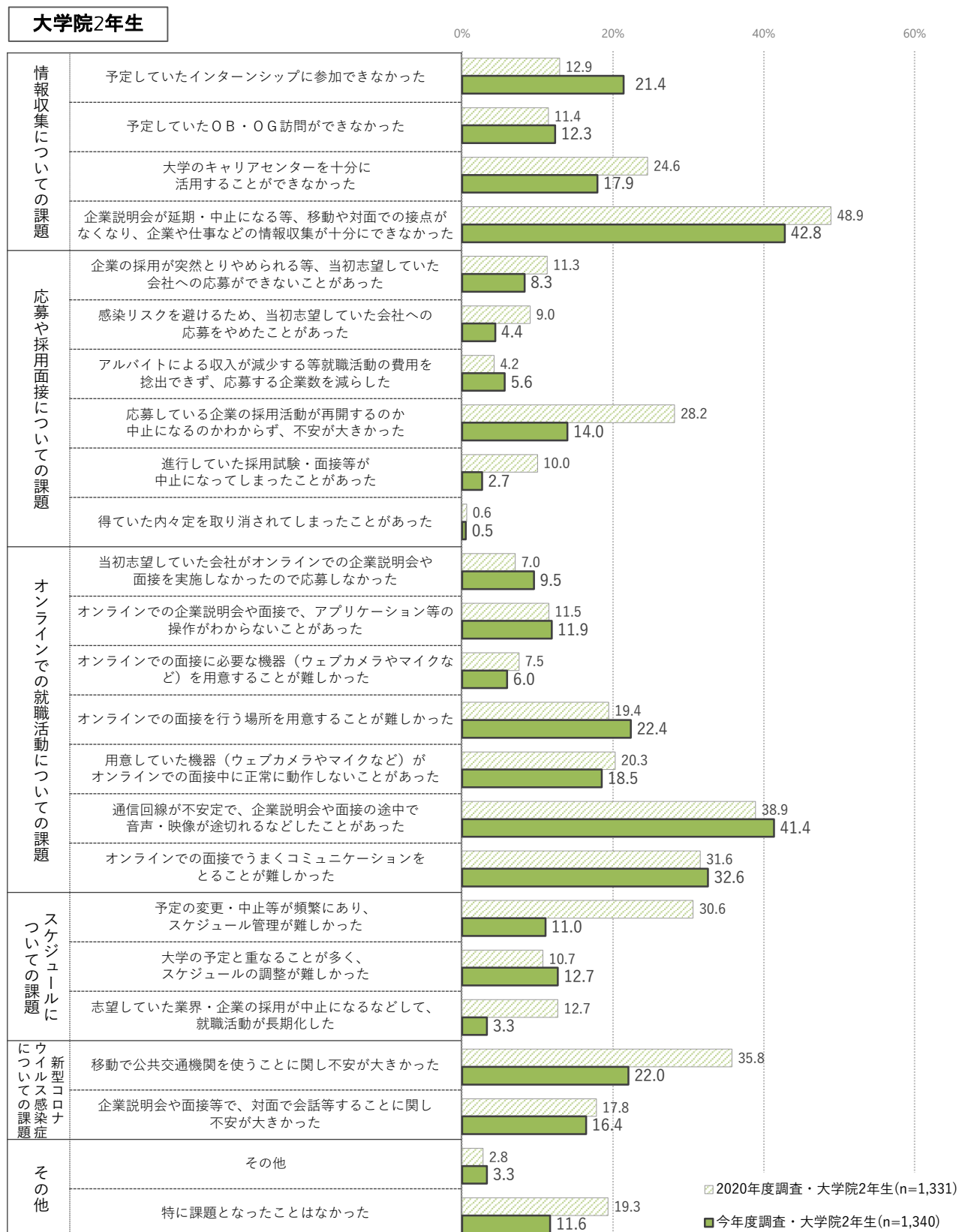
2020年度調査と比べると、「移動で公共交通機関を使うことに関し不安が大きかった」、「予定の変更・中止等が頻繁にあり、スケジュール管理が難しかった」、「応募している企業の採用活動が再開するのかわからず、不安が大きかった」については、20%以上低くなっている。



①就職活動に関する新型コロナウイルス感染症による課題



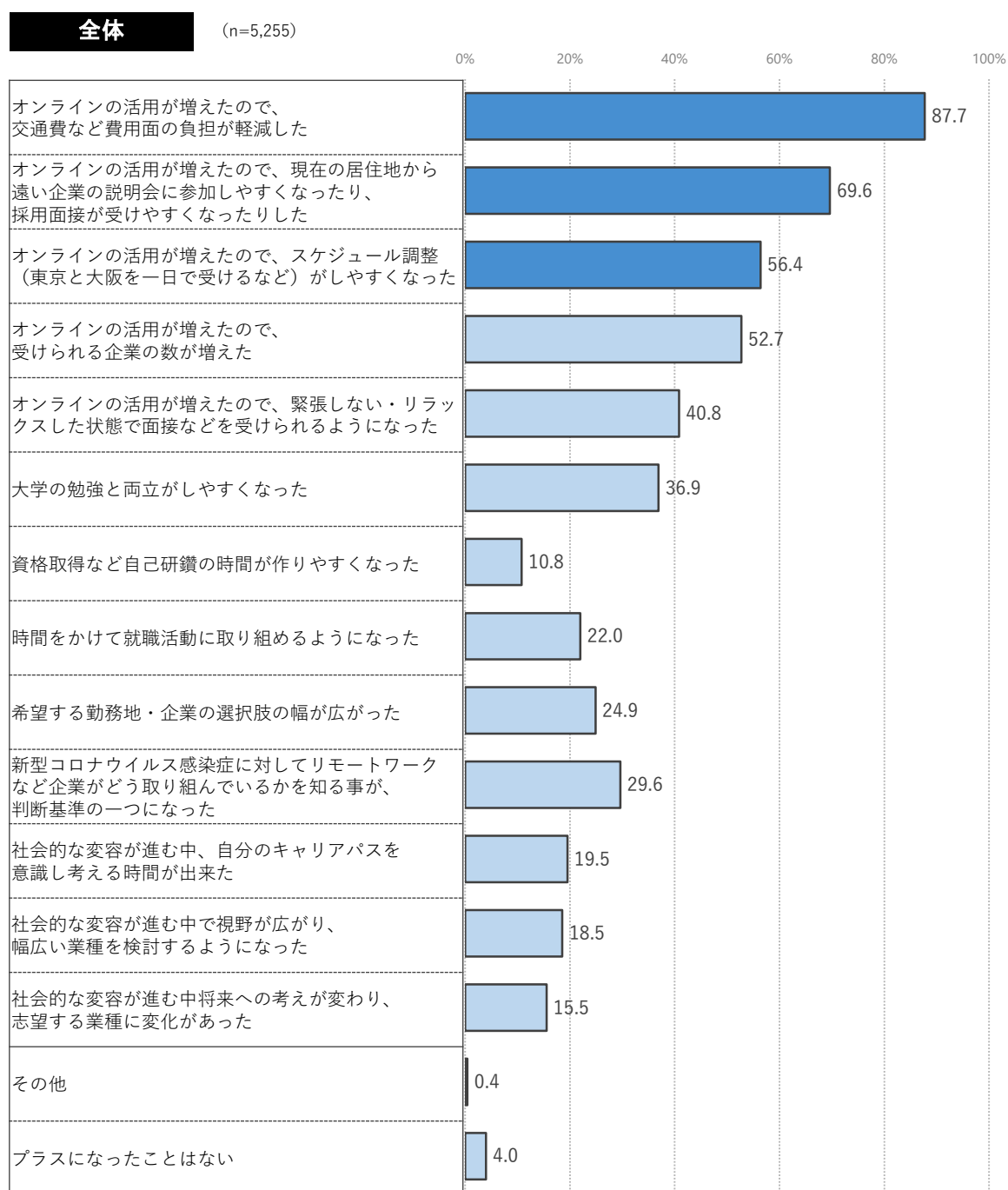
①就職活動に関する新型コロナウイルス感染症による課題



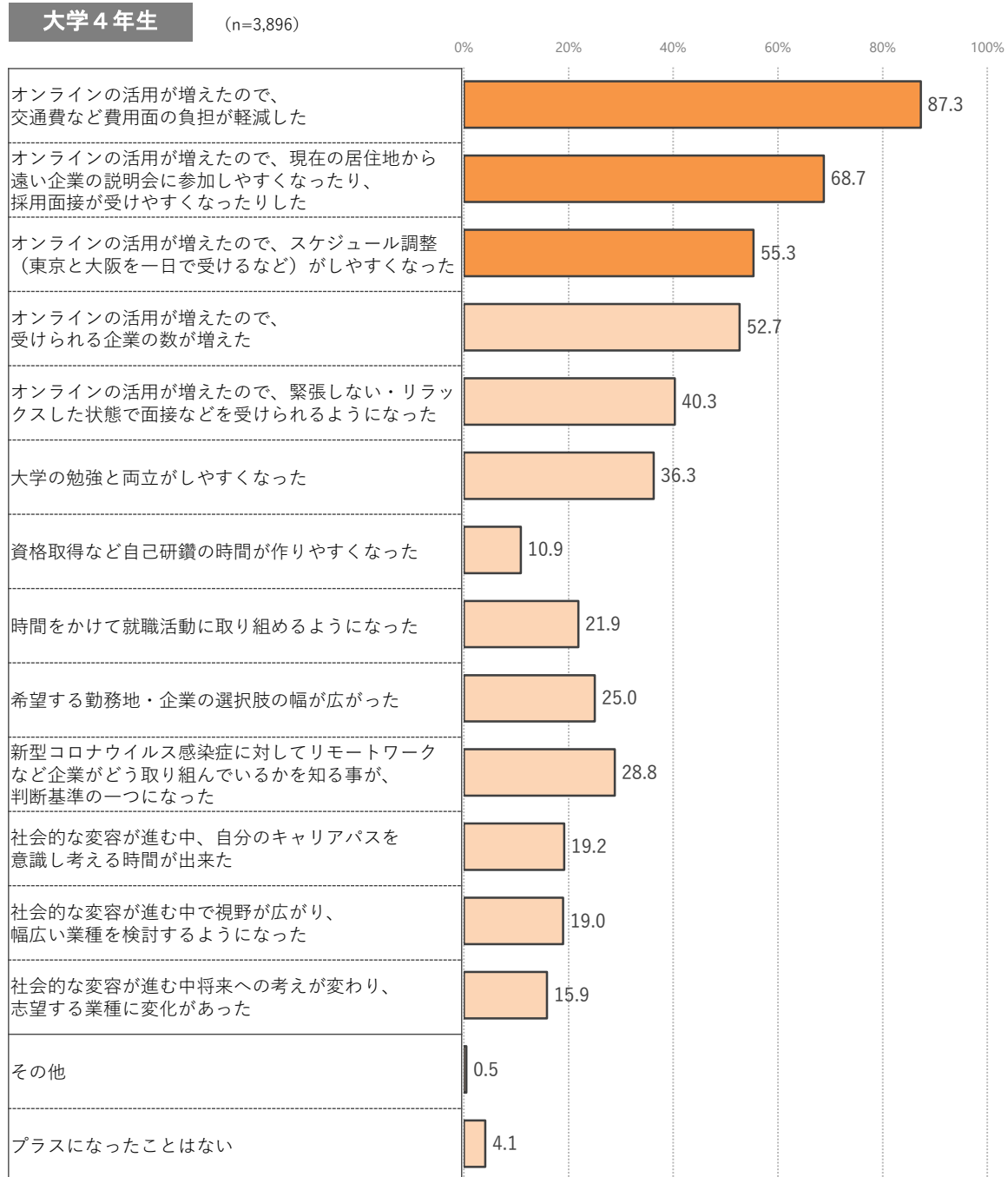
②新型コロナウイルス感染症による社会的な変容が就職活動に与えたメリット

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響もあり社会的な変容が進む中で、想定していたよりもプラスになった・メリットになったこととして、「オンラインの活用が増えたので、交通費などの費用面の負担が軽減した」が約9割と最も高く、次いで「オンラインの活用が増えたので、現在の居住地から遠い企業の説明会に参加しやすくなったり、採用面接が受けやすくなったりした」が約7割、「オンラインの活用が増えたので、スケジュール調整がしやすくなった」が約6割と高かった。

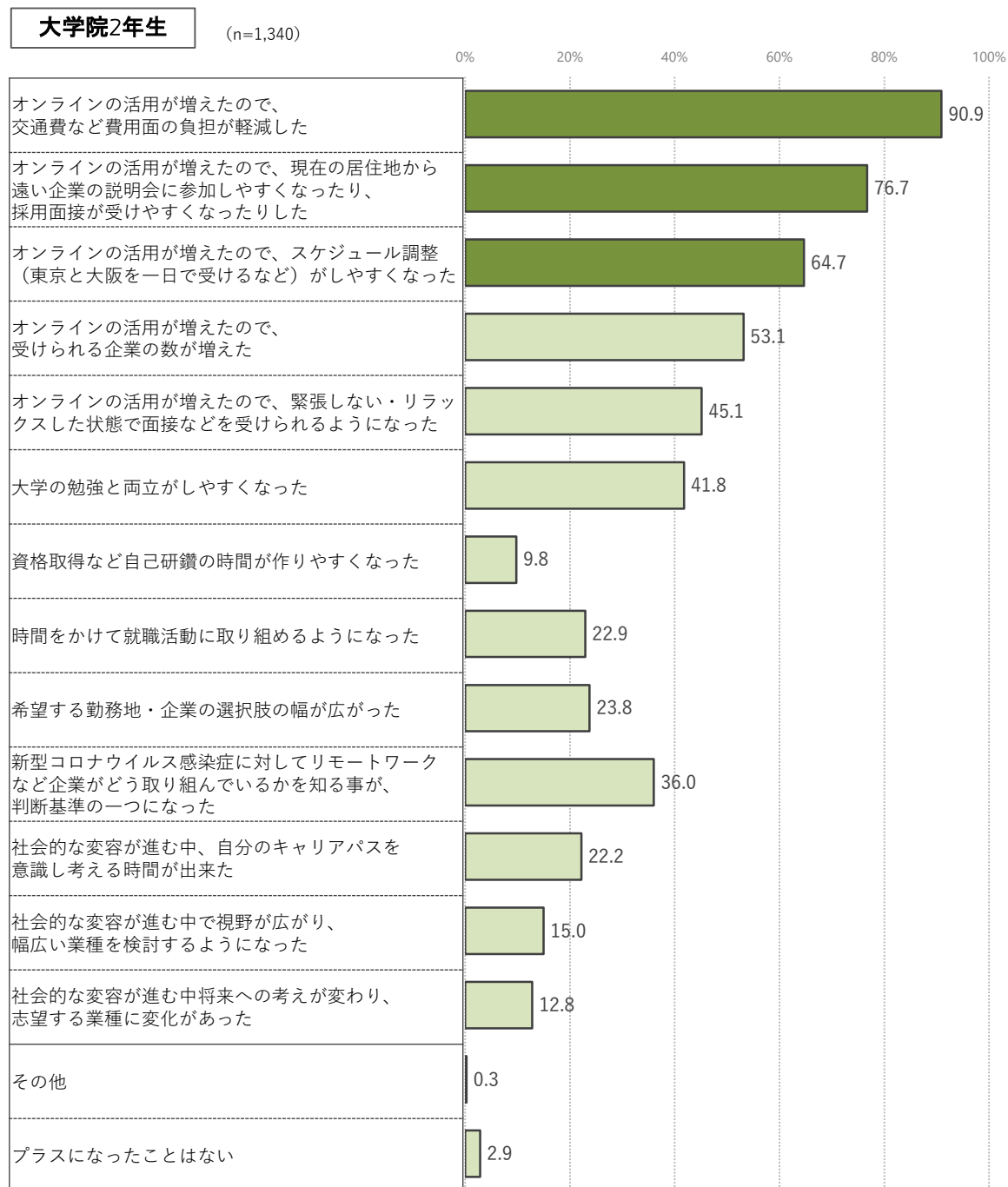
一方、「プラスになったことはない」は4%程度となった。



②新型コロナウイルス感染症による社会的な変容が就職活動に与えたメリット



②新型コロナウイルス感染症による社会的な変容が就職活動に与えたメリット



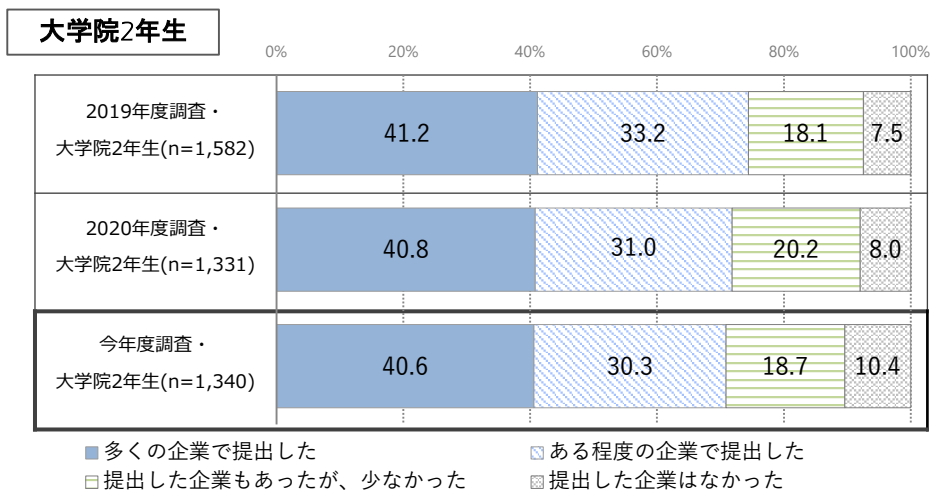
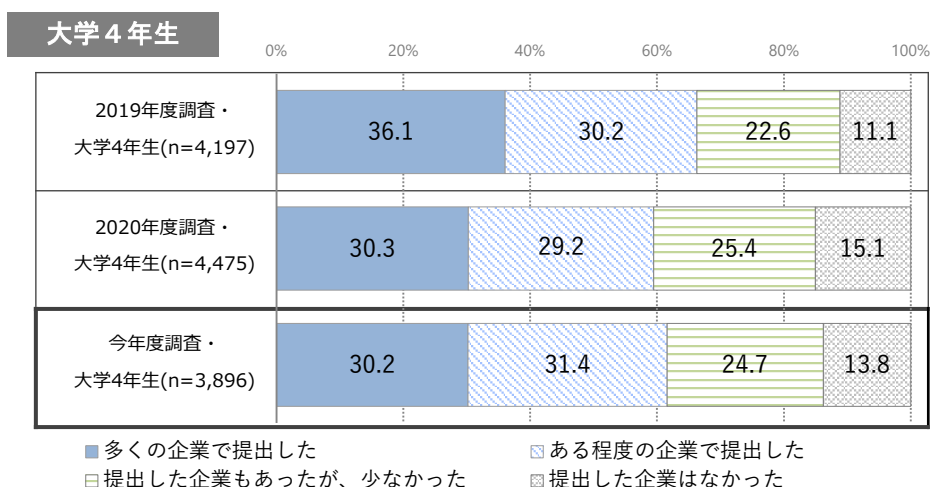
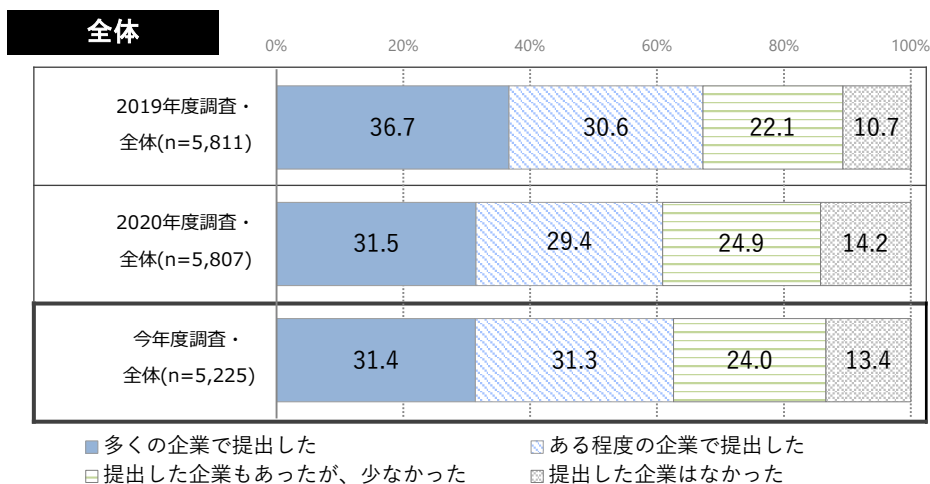
第六章 就職活動における諸問題について

第六章 就職活動における諸問題について

(1) 履修履歴（成績証明書など）の提出の状況

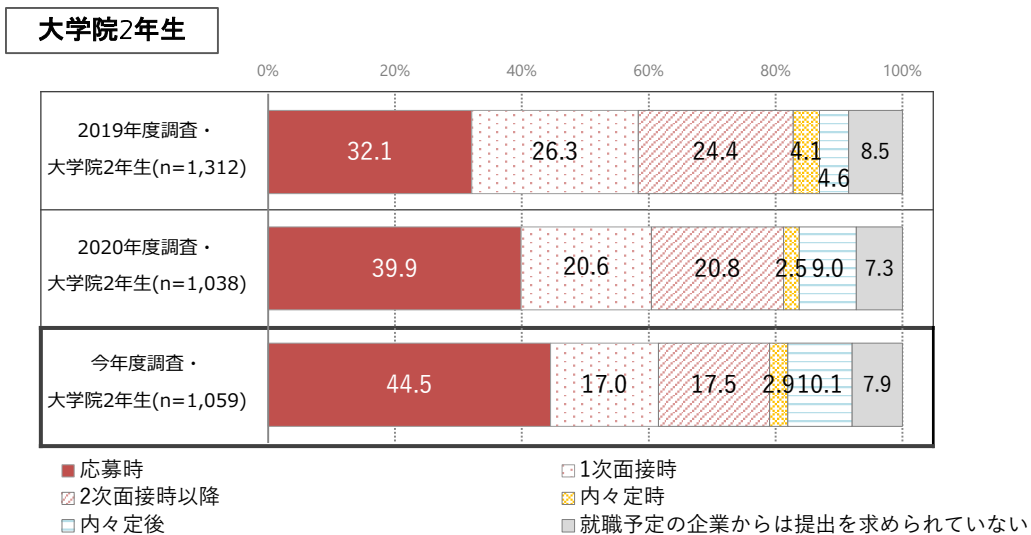
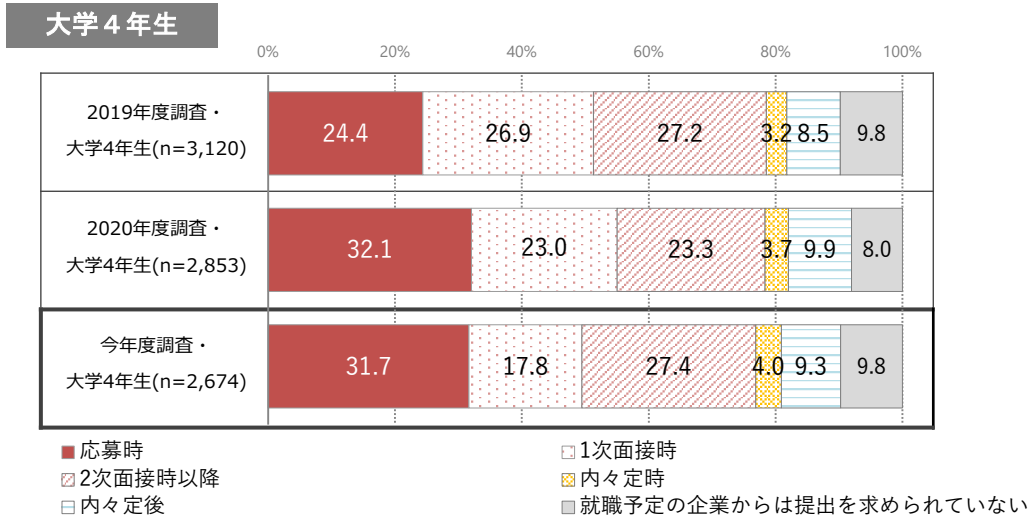
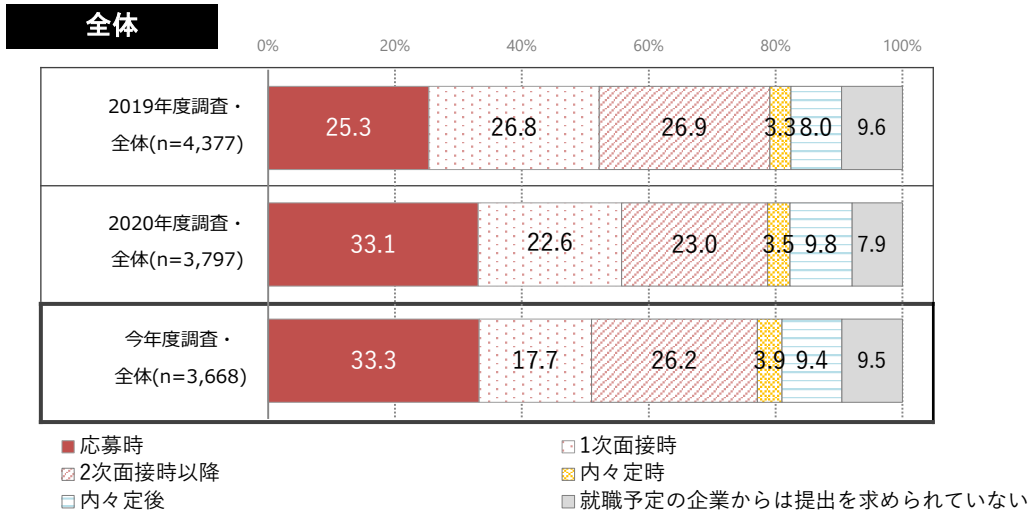
①提出の状況

就職活動の面接や試験を受けるにあたり、履修履歴（成績証明書など）を提出することがどの程度あったかについて、「多くの企業で提出した」の回答割合は約3割となっている。
2020年度調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



②就職予定の企業への提出のタイミング

就職予定の企業から履修履歴(成績証明書など)の提出がいつ頃求められたかについて、「応募時」の回答割合が約3割で最も高く、次いで「2次面接時以降」の回答割合が約3割となっている。
2020年度調査と比べると、「1次面接時」の回答割合が低くなっている。

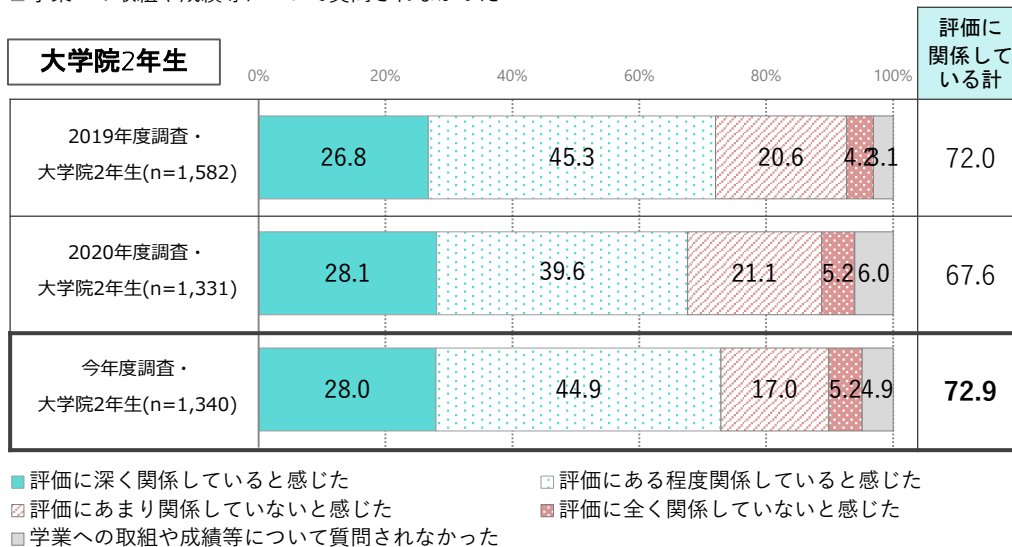
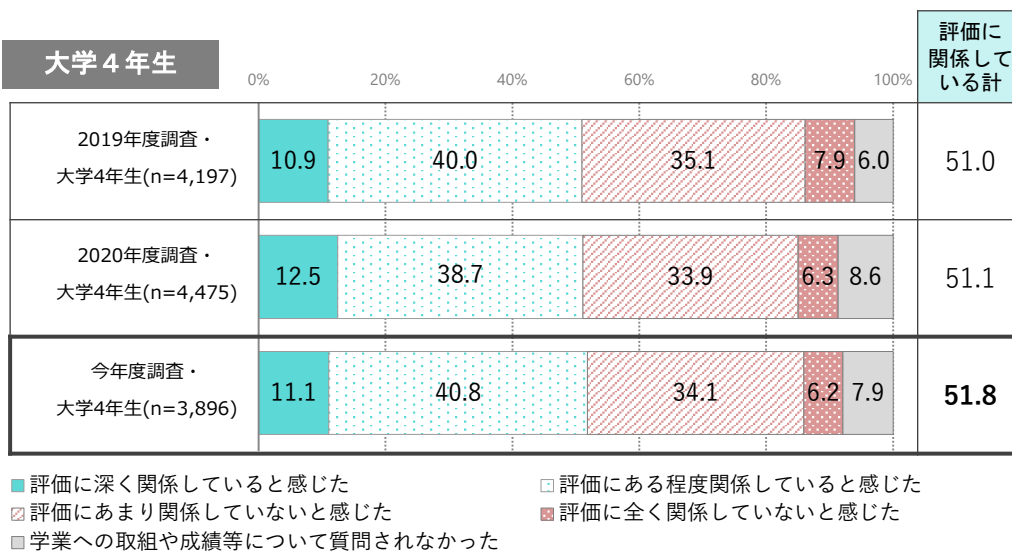
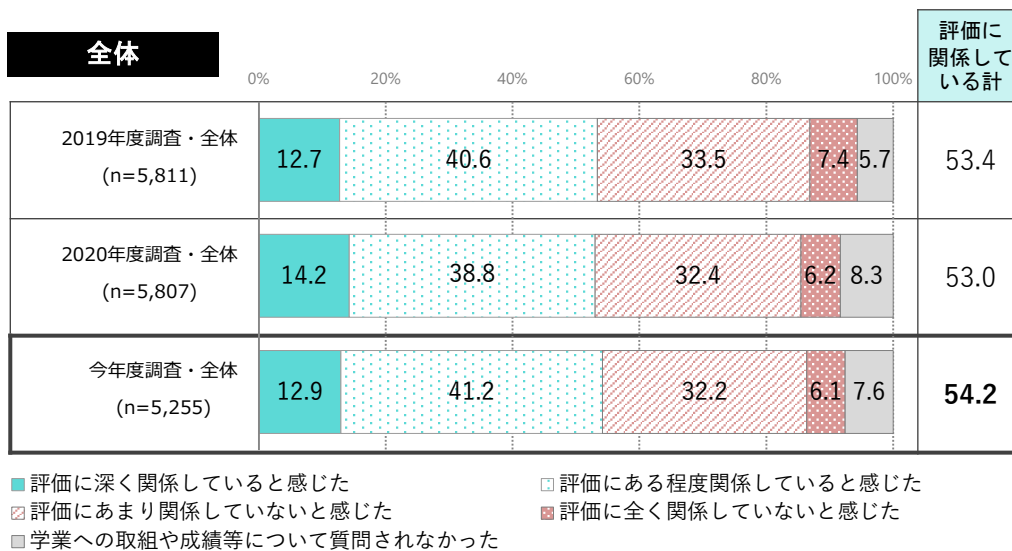


(2) 採用面接の際の学業や成績等への評価

①採用面接の際の学業の取り組みや成績等への質問有無と評価との関係

採用面接において、研究・ゼミや専門分野などの学業への取組や成績等の質問などを受け、その内容が採用選考の評価に関係していると感じたかについて、「評価に深く関係していると感じた」と「評価にある程度関係していると感じた」を合わせた割合は約5割となっている。

2020年度調査と比べると、ほぼ同様の結果となっている。

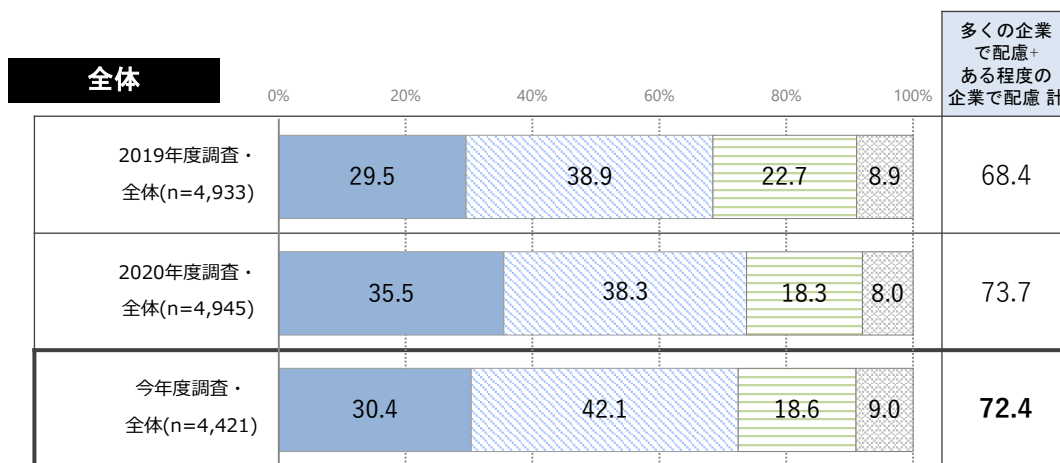


(3) 就職活動の日程・時間帯等に関する配慮

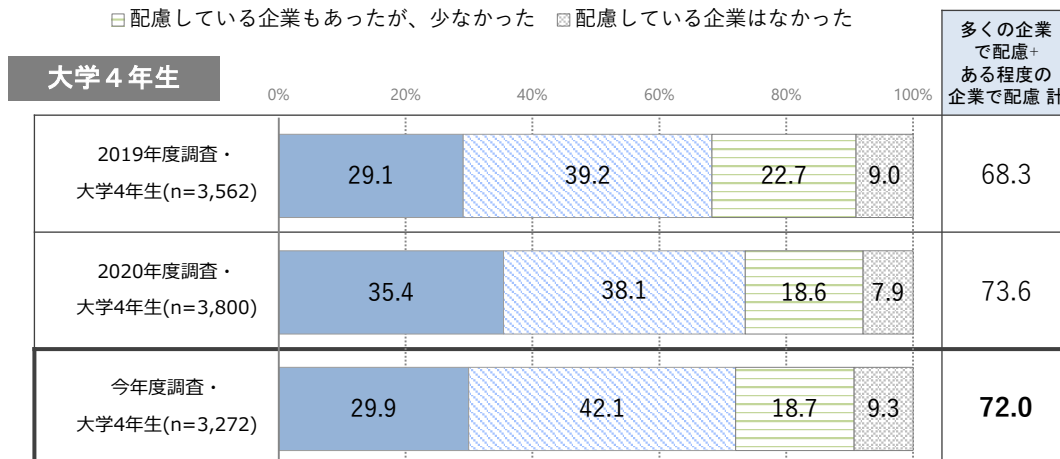
①説明会や面接等の日程・時間帯等についての配慮

就職活動を行った企業において説明会や面接等の日程・時間帯等について配慮があったかについて、「よくわからない」と回答した者を除くと※1、「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」を合わせた回答割合は約7割となっている。

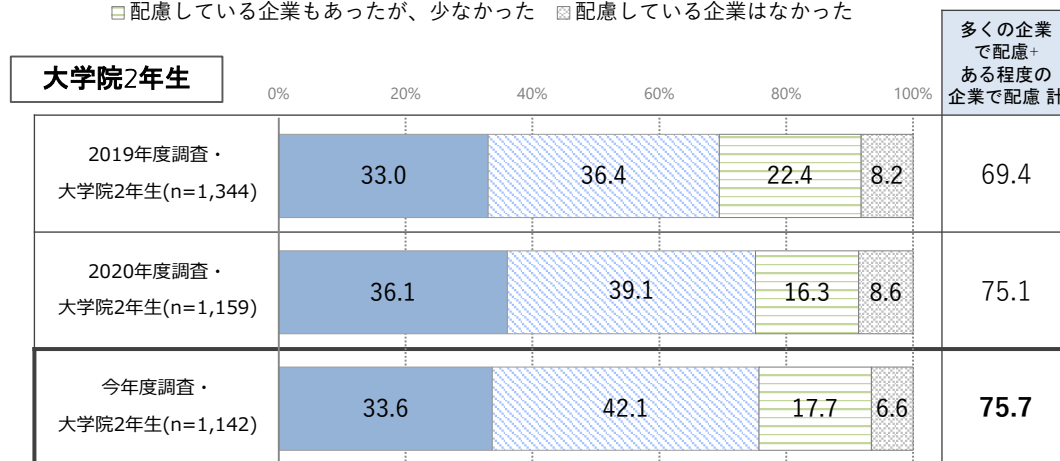
2020年度調査と比べると、ほぼ同様の結果となっている。



- 多くの企業で配慮していた
- ▨ ある程度の企業で配慮していた
- 配慮している企業もあったが、少なかった
- ▩ 配慮している企業はなかった



- 多くの企業で配慮していた
- ▨ ある程度の企業で配慮していた
- 配慮している企業もあったが、少なかった
- ▩ 配慮している企業はなかった



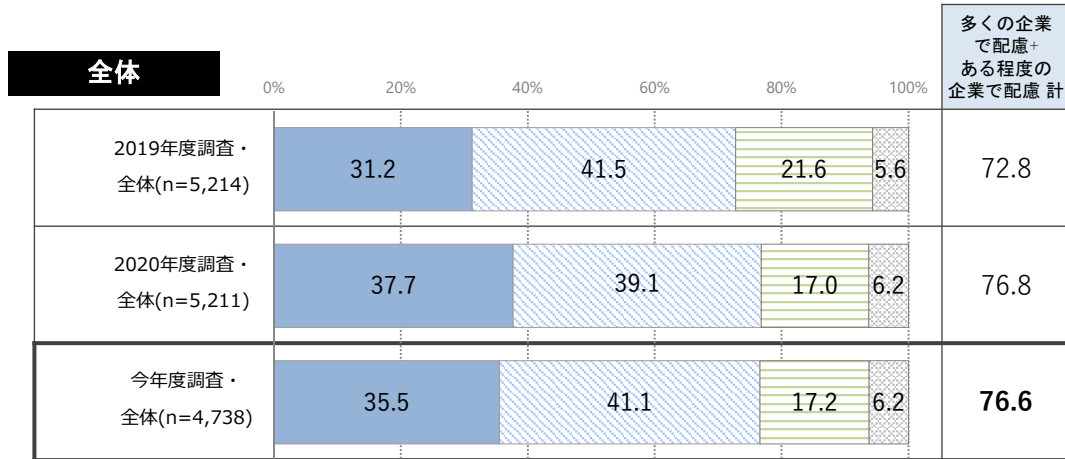
- 多くの企業で配慮していた
- ▨ ある程度の企業で配慮していた
- 配慮している企業もあったが、少なかった
- ▩ 配慮している企業はなかった

※1：就職活動を行った企業について、「説明会や面接等の日程・時間帯等について、就職活動が授業・試験等の妨げにならないよう、時間の設定などの配慮をしていましたか」という設問に対して、「就職活動最優先で活動していたため、よくわからない」と回答した者は除いて集計した。

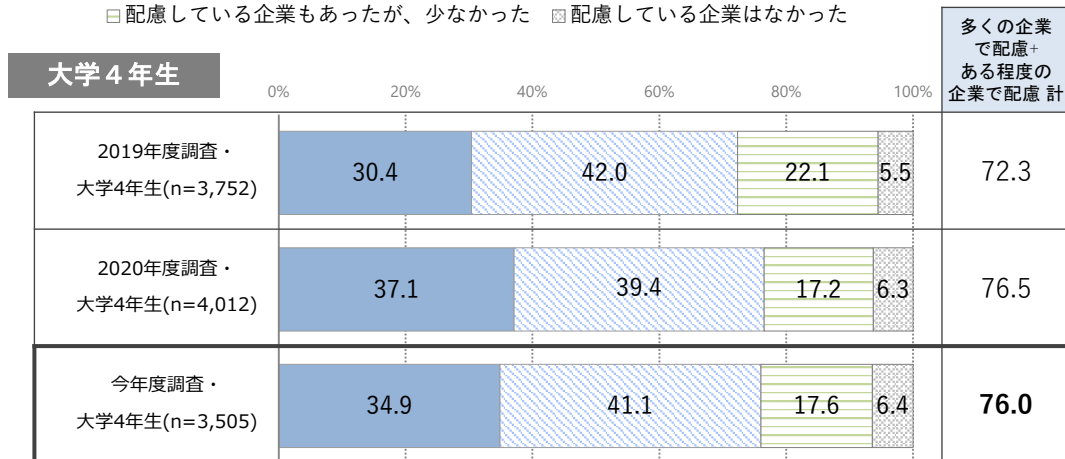
②個別に面接日時等の設定にあたっての配慮

就職活動を行った企業において個別の面接日時等の設定に当たり配慮があったかについて、「よくわからない」と回答した者を除くと※1、「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」を合わせた回答割合は約8割となっている。

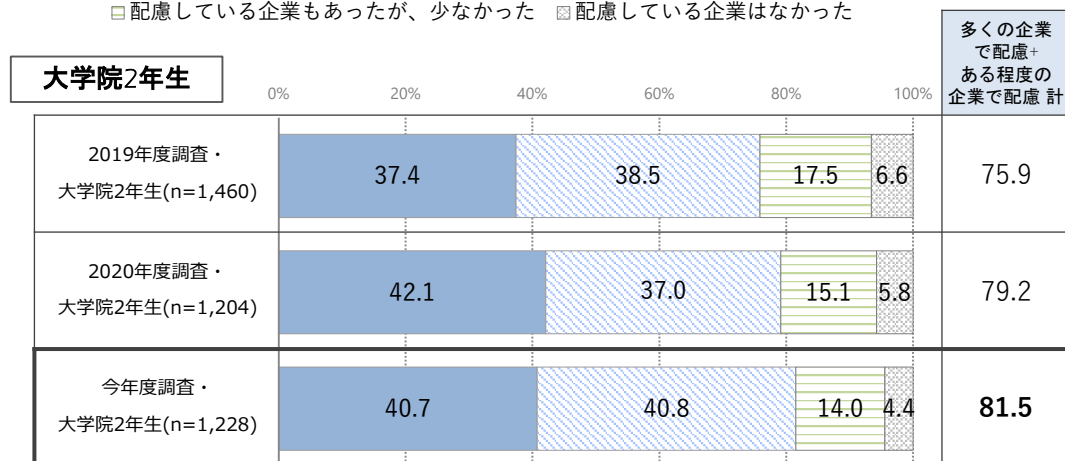
2020年度調査と比べると、ほぼ同様の結果となっている。



■ 多くの企業で配慮していた ▨ ある程度の企業で配慮していた
 □ 配慮している企業もあったが、少なかった ▩ 配慮している企業はなかった



■ 多くの企業で配慮していた ▨ ある程度の企業で配慮していた
 □ 配慮している企業もあったが、少なかった ▩ 配慮している企業はなかった



■ 多くの企業で配慮していた ▨ ある程度の企業で配慮していた
 □ 配慮している企業もあったが、少なかった ▩ 配慮している企業はなかった

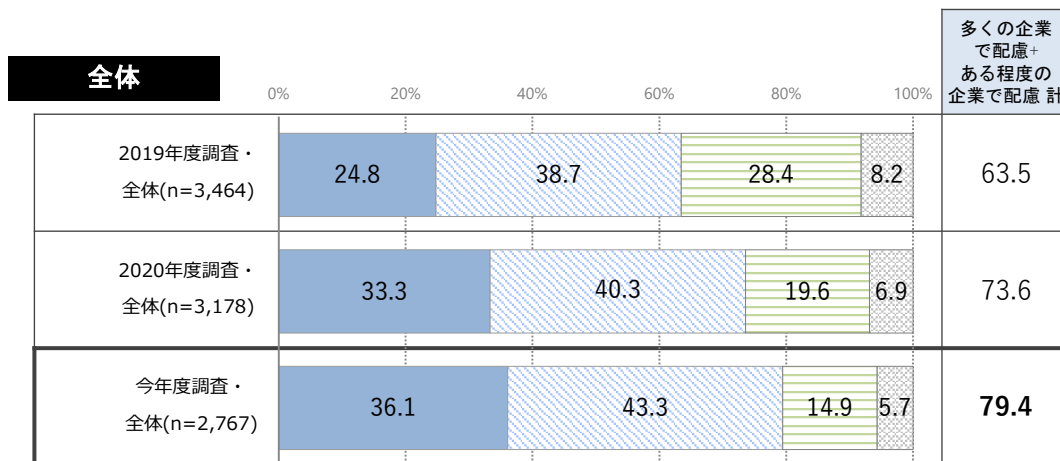
※1：就職活動を行った企業について、「個別の面接日時等の設定に当たり、就職活動が授業・試験等の妨げにならないよう、連絡が余裕をもって行われたり、土日や平日夕方などの対応があったり、日程の候補が複数提示されたり、学生の要望を聞いたりするなどの配慮がありましたか」という設問に対して、「就職活動最優先で活動していたため、よくわからない」と回答した者は除いて集計した。

(4) 遠隔地への就職活動への配慮

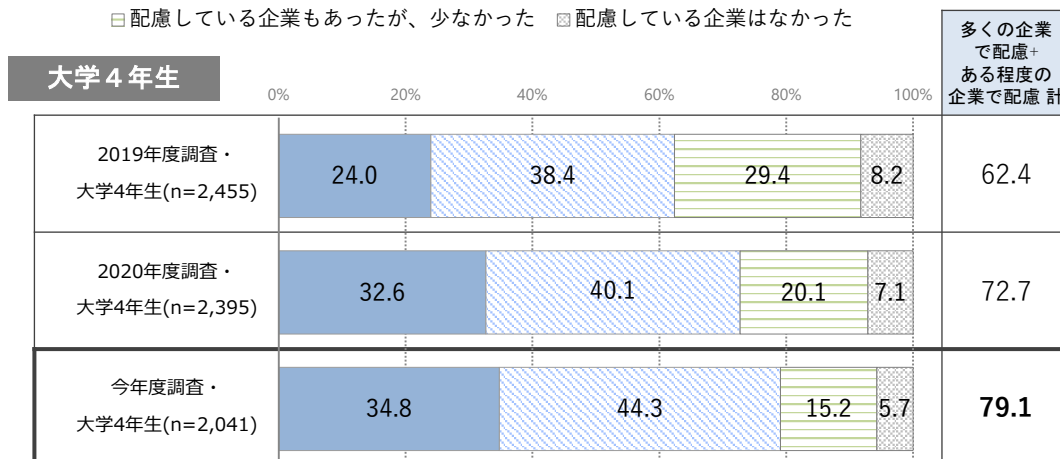
①遠隔地における就職活動への企業側からの配慮の状況

地方から都市部への就職活動や、Uターン・Iターン・Jターン就職など、学生の負担の大きい遠隔地への就職活動に際して、企業側からの配慮があったかについて、「よくわからない」と回答した者を除くと※1、「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」を合わせた回答割合は約8割となっている。

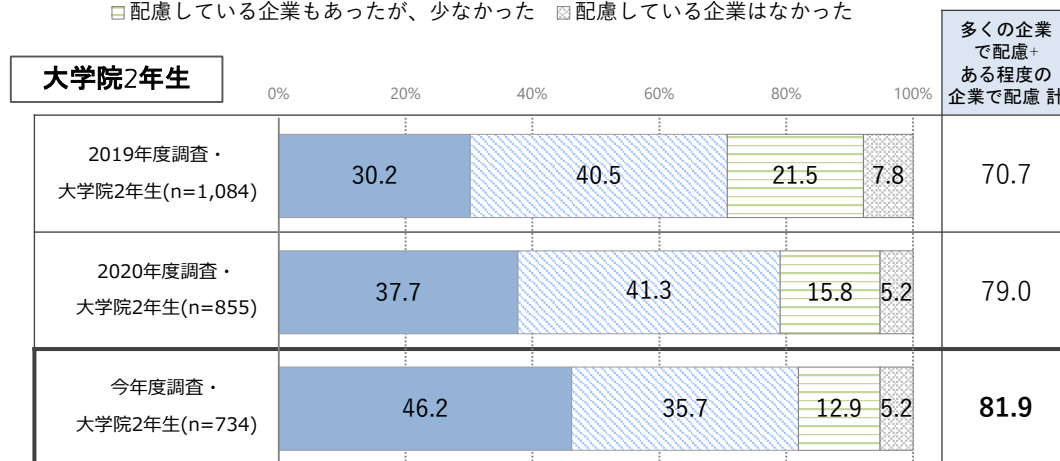
2020年度調査と比較すると、今年度調査は「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」を合わせた回答割合が高くなっている。



- 多くの企業で配慮していた
- ▨ ある程度の企業で配慮していた
- 配慮している企業もあったが、少なかった
- ▩ 配慮している企業はなかった



- 多くの企業で配慮していた
- ▨ ある程度の企業で配慮していた
- 配慮している企業もあったが、少なかった
- ▩ 配慮している企業はなかった



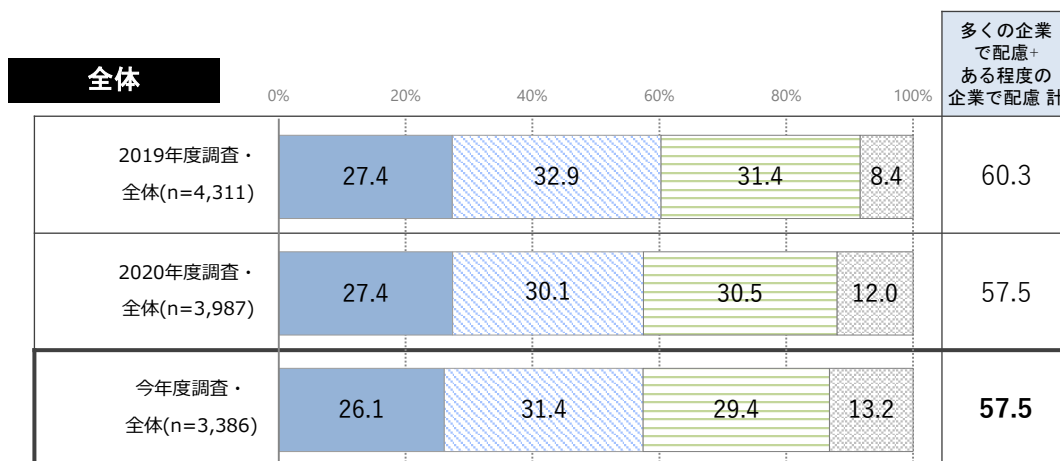
- 多くの企業で配慮していた
- ▨ ある程度の企業で配慮していた
- 配慮している企業もあったが、少なかった
- ▩ 配慮している企業はなかった

※1：「地方から都市部への就職活動や、Uターン・Iターン・Jターン就職など、学生の負担の大きい遠隔地への就職活動に際して、企業側からの配慮がありましたか」という設問に対して、「自身が該当しないため、よくわからない」と回答した者は除いて集計した。

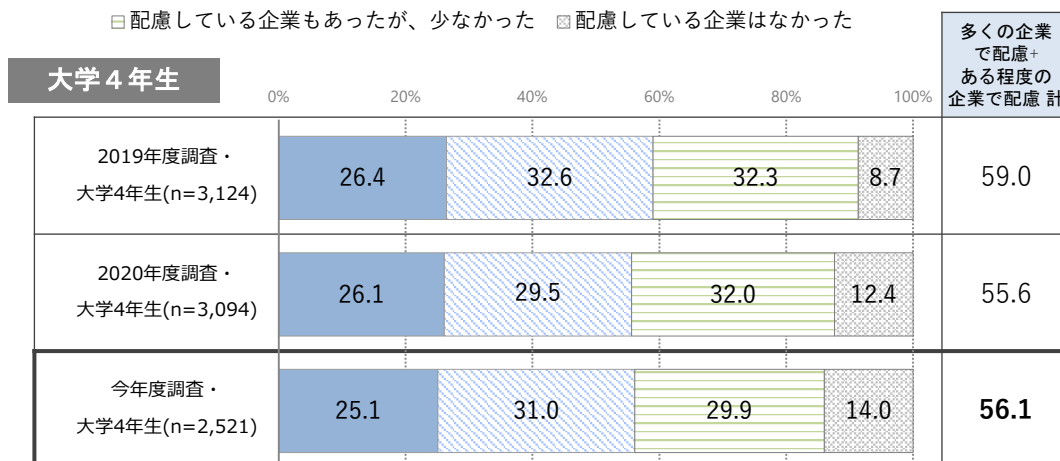
(5) クールビズでの対応

①面接の実施におけるクールビズでの対応の状況

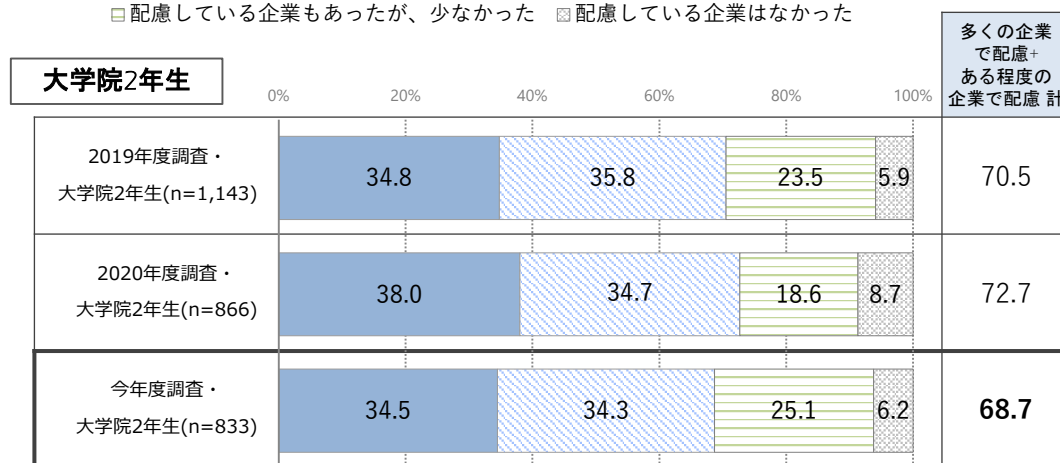
面接の実施にあたり、クールビズでの対応が認められていたかについて、「わからない」と回答した者を除くと※1、「多くの企業で認められていた」と「ある程度の企業で認められていた」を合わせた回答割合は約6割となっている。2020年度調査と比べると、ほぼ同様の結果となっている。



- 多くの企業で配慮していた
- ▨ ある程度の企業で配慮していた
- 配慮している企業もあったが、少なかった
- ▩ 配慮している企業はなかった



- 多くの企業で配慮していた
- ▨ ある程度の企業で配慮していた
- 配慮している企業もあったが、少なかった
- ▩ 配慮している企業はなかった



- 多くの企業で配慮していた
- ▨ ある程度の企業で配慮していた
- 配慮している企業もあったが、少なかった
- ▩ 配慮している企業はなかった

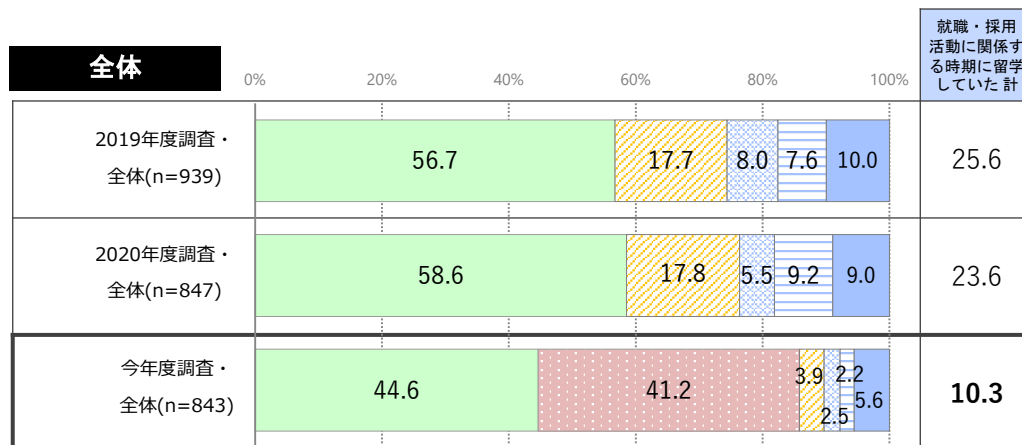
※1：「面接の実施等にあたり、クールビズでの対応が認められていましたか」という設問に対して、「暑い時期に就職活動を行っている」「わからない」と回答した者は除いて集計した。

(6) 留学経験者への配慮

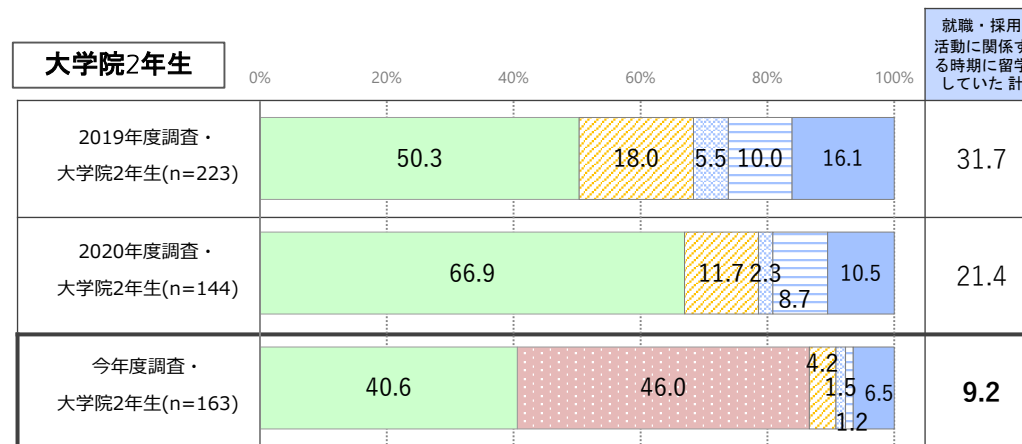
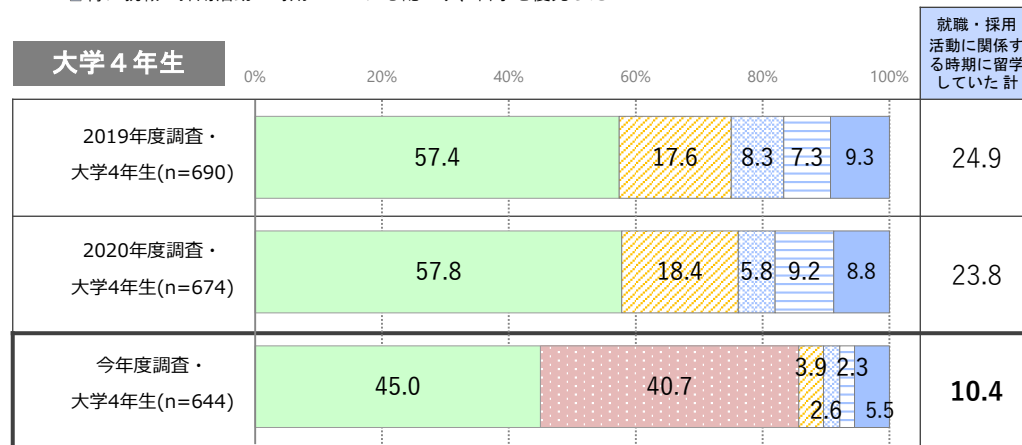
①留学経験者及び留学を検討していた者の状況

就職・採用活動の設定時期により留学の予定等に影響があったかについて、留学経験者及び留学を検討していた者のうち、約4割は「もともと就職・採用活動時期にかからない時期に留学をした(又は今後留学する)ので影響はなかった」と回答している。

一方、約4割が「留学する考えがあったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、留学をとりやめた」と回答しており、「留学していたが、就職・採用活動の設定時期により留学時間を短くした」、「就職活動が心配だったが、期間を短くすることなく留学を優先した」、「特に就職・採用活動の時期のことは心配せず、留学を優先した」を合わせた「就職・採用活動に関係する時期に留学していた」回答割合は約1割と、2020年度調査と比較して低くなっている。



- もともと就職・採用活動時期にかからない時期に留学をした(又は今後留学する)ので影響はなかった
- 留学する考えがあったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、留学を取りやめた
- 留学する考えがあったが、就職・採用活動の設定時期により、留学を取りやめた
- 留学していたが、就職・採用活動の設定時期により、留学期間を短くした
- 就職活動が心配だったが、期間を短くすることなく、留学を優先した
- 特に就職・採用活動の時期のことは心配せず、留学を優先した



※「就職・採用活動の設定時期(広報活動は3月1日以降、採用選考活動は6月1日以降に開始)により、留学の予定等に影響はありましたか」という設問に対して、「もともと留学する予定はなく、留学はしていない」と回答した者を除いて集計した。

※「留学する考えがあったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、留学をとりやめた」は、今年度調査で新たに設けた項目である。

②企業側から留学経験者に対する配慮の状況

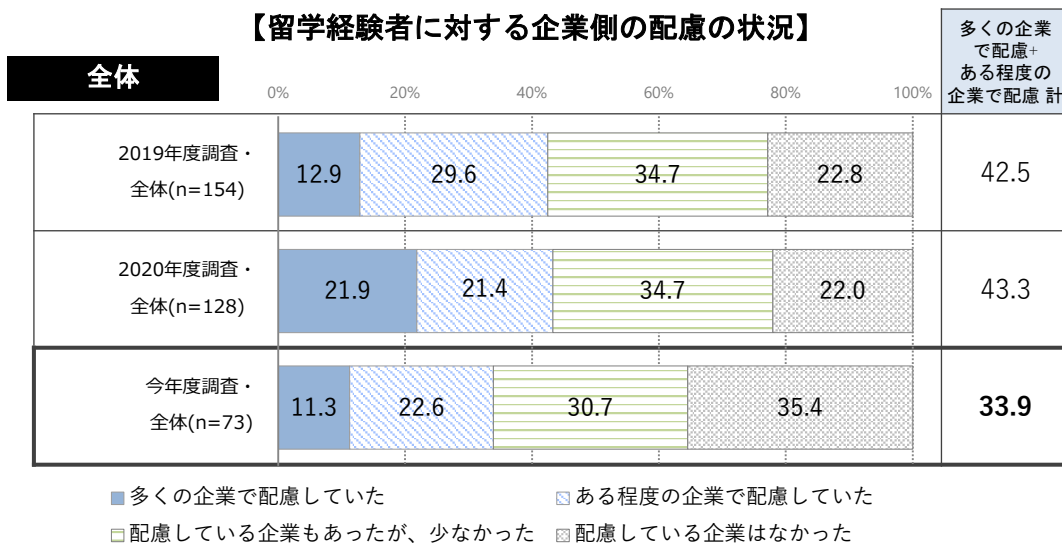
就職・採用活動期間中に留学を実際に行っていた者※1に関して、就職を希望した企業において、留学経験者が不利にならないよう留学経験者向けのスケジュールや情報を別途示すなど配慮があったかについて、「わからない」との回答を除くと※2、約3割が「多くの企業で配慮していた」または「ある程度の企業で配慮していた」と回答している※3。

2020年度調査と比較すると、「多くの企業で配慮していた」の回答割合が低くなっている。

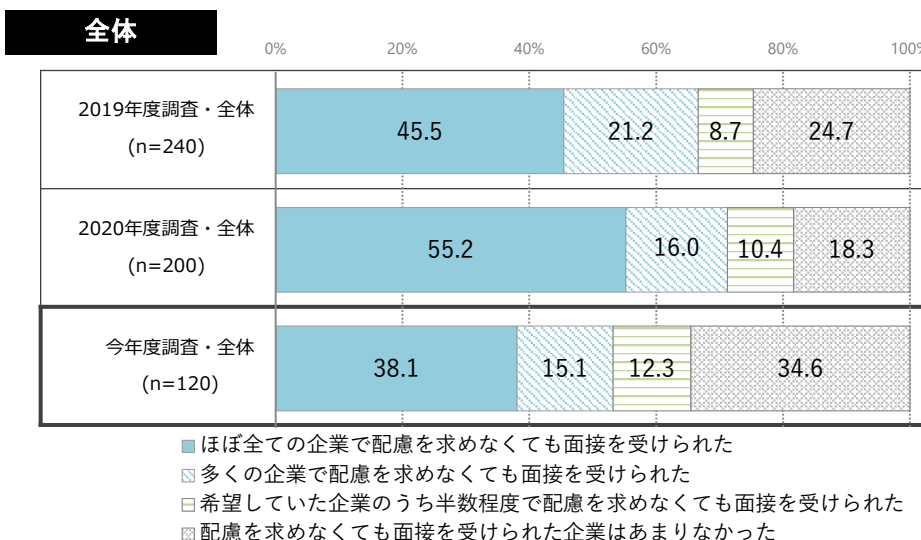
就職を希望していた企業のうち、面接の時期が留学と重なっていなかった、または留学経験者のための別日程が示されていたため、配慮を求めなくても面接を受けられた企業がどれくらいあったかについては、「ほぼ全ての企業で配慮を求めなくても面接を受けられた」の回答割合が約4割となっている。

この割合は、2020年度調査と比較して低くなっている。

【留学経験者に対する企業側の配慮の状況】



【留学経験者が配慮を求めなくても面接を受けられた企業の状況】



※1：留学していたが、就職・採用活動の設定時期により、留学期間を短くした」「就職活動が心配だったが、期間を短くすることなく、留学を優先した」「特に就職・採用活動の時期のことは心配せず、留学を優先した」と回答した者について集計した。

※2：「あなたが就職を希望した企業は、企業側から留学経験者向けのスケジュール・情報を別途示すなど、留学により不利にならないように配慮していましたか」という設問に対して、「留学経験者であることを特に意識せず就職活動を行ったため、わからない」と回答した者は除いて集計した。

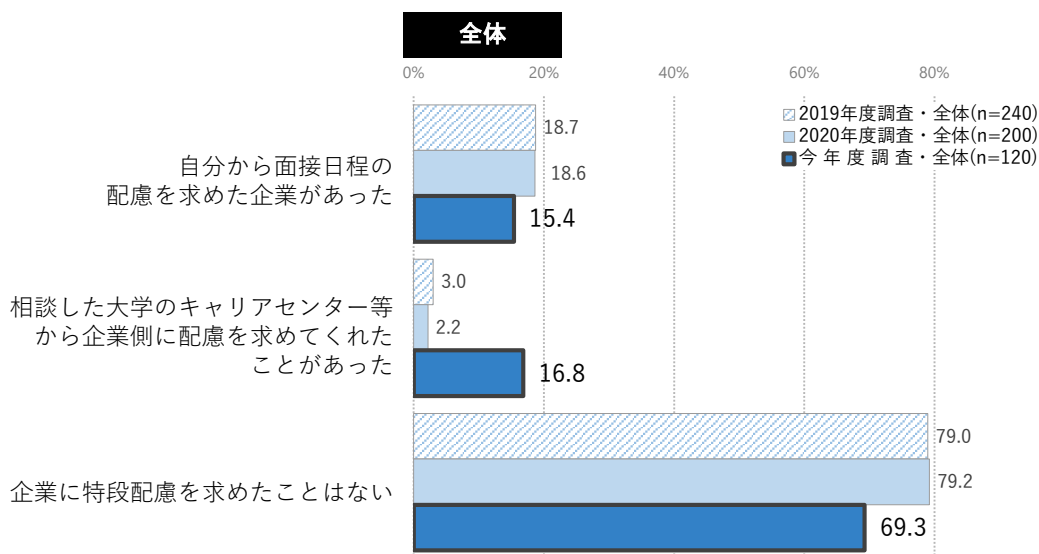
※3：留学経験者の数が必ずしも多いわけではないことから、ここでは、大学4年生・大学院2年生について合わせて集計した結果のみ参照した。

③留学と採用選考の時期が重なった場合の対応等

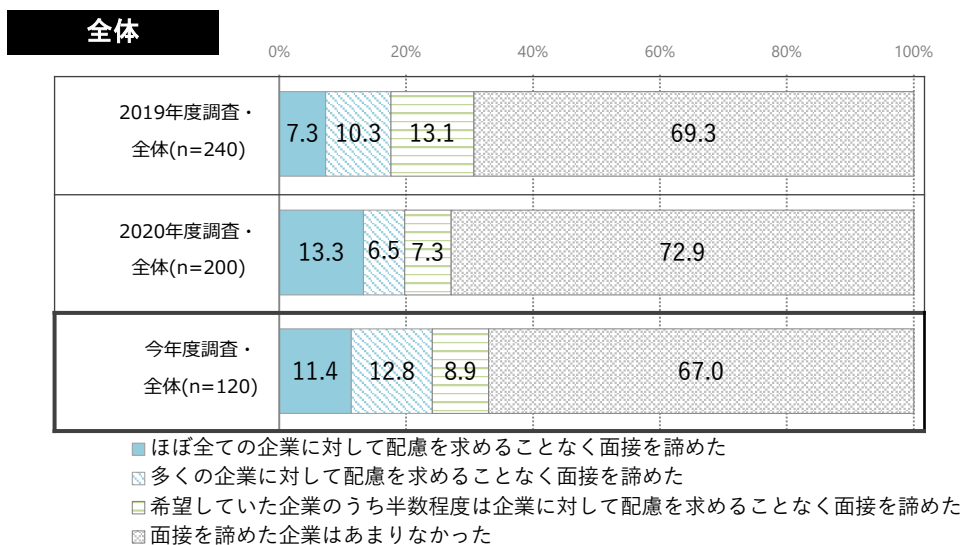
留学と採用選考の時期が重なることに関して、就職を希望した企業に対して面接日程の配慮を求めたことがあったかについて、「自分から面接日程の配慮を求めた企業があった」との回答が約1割となっており、「相談した大学のキャリアセンター等から企業側に配慮を求めてくれたことがあった」との回答は約2割となっている。

また、就職を希望していた企業のうち、企業側に面接日程についての配慮を求めることをせず、結果として留学と日程が重なり面接を諦めた企業がどのくらいあったかについては、「ほぼ全ての企業に対して配慮を求めることなく面接を諦めた」「多くの企業に対して配慮を求めることなく面接を諦めた」の回答割合を合わせると約2割となっている。

【留学経験者が就職を希望した企業に対して面接日程について配慮を求めたことがあったか】



【留学経験者が企業に配慮を求めず、結果的に面接を諦めた企業の状況】



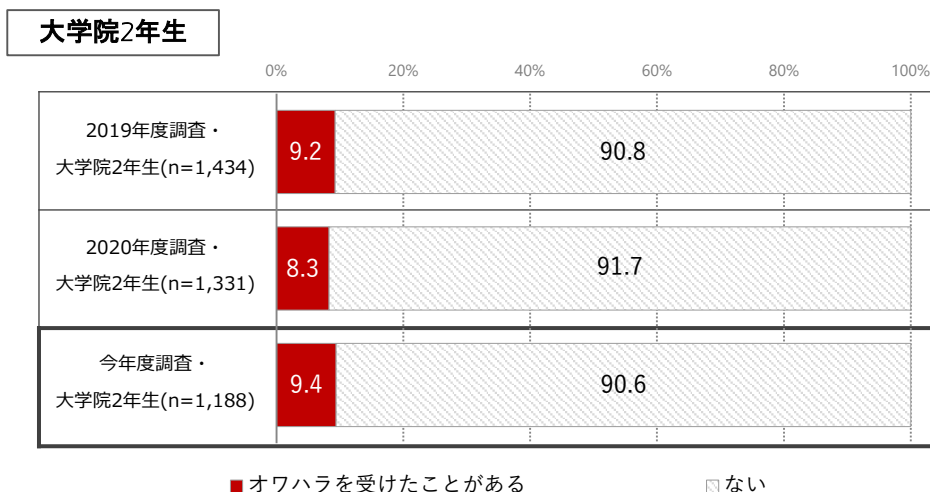
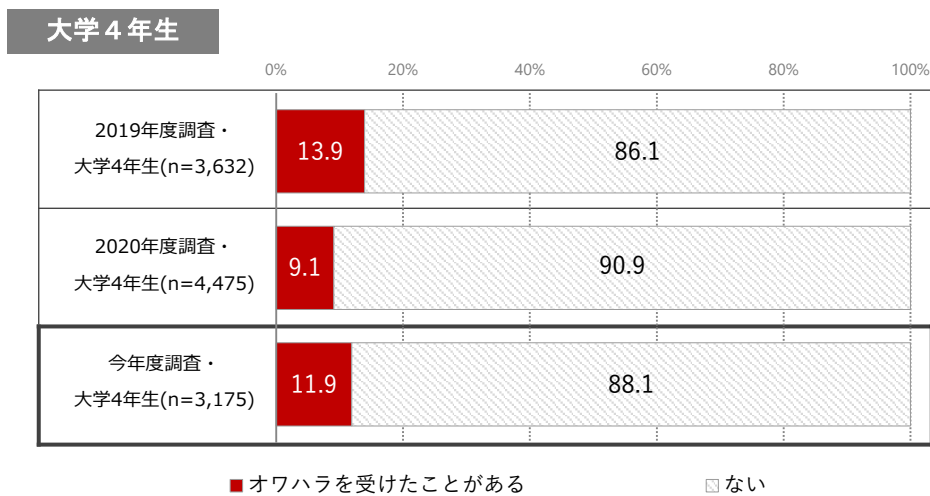
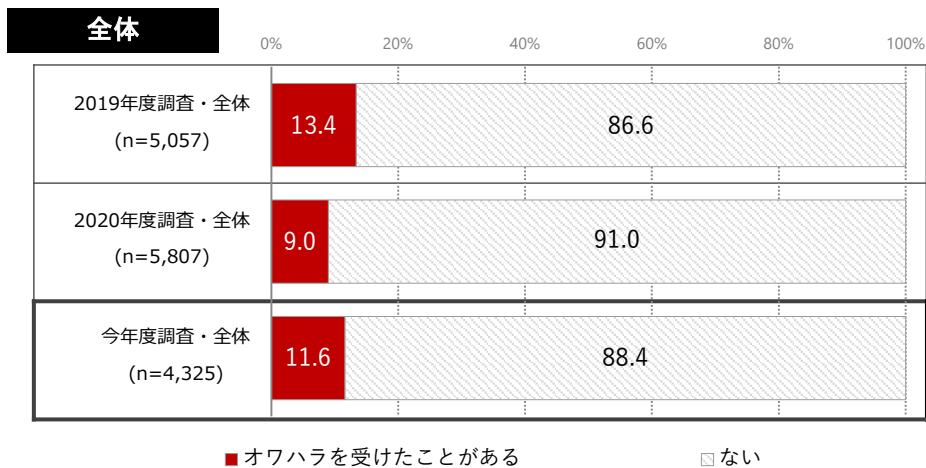
※留学経験者に関する各設問について、「留学していたが、就職・採用活動の設定時期により、留学期間を短くした」「就職活動が心配だったが、期間を短くすることなく、留学を優先した」「特に就職・採用活動の時期のことは心配せず、留学を優先した」と回答した者について集計した。

(7) 「オワハラ」の状況

① 「オワハラ」の有無

企業等から、他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント的な行為(「オワハラ」)を受けたことがあるかについて※1、約1割の者が「ある」と回答している。

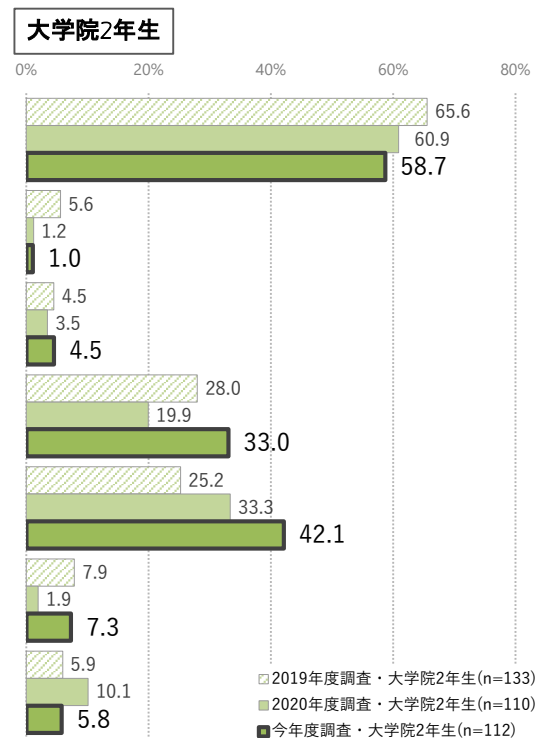
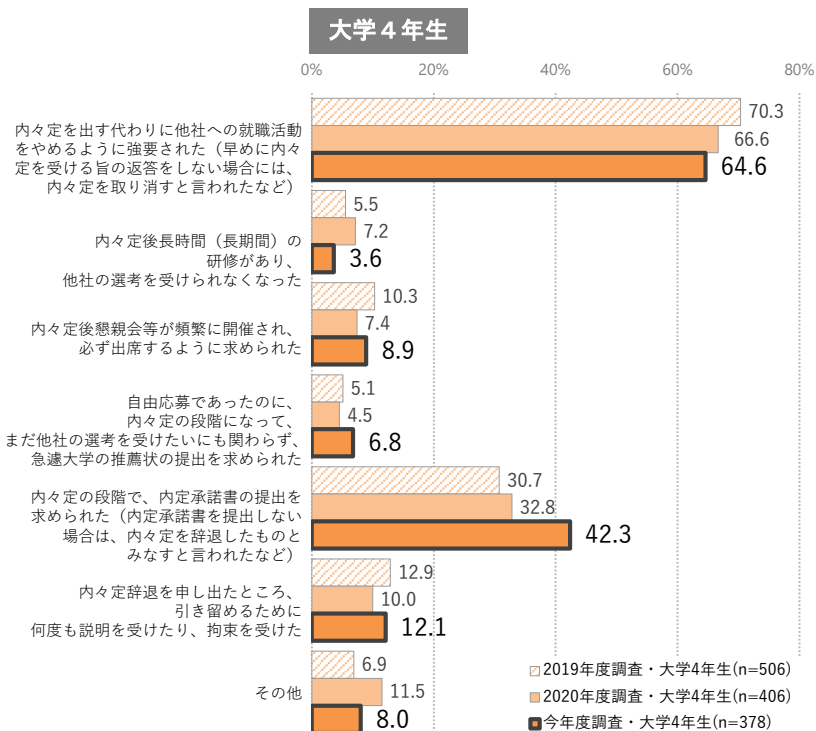
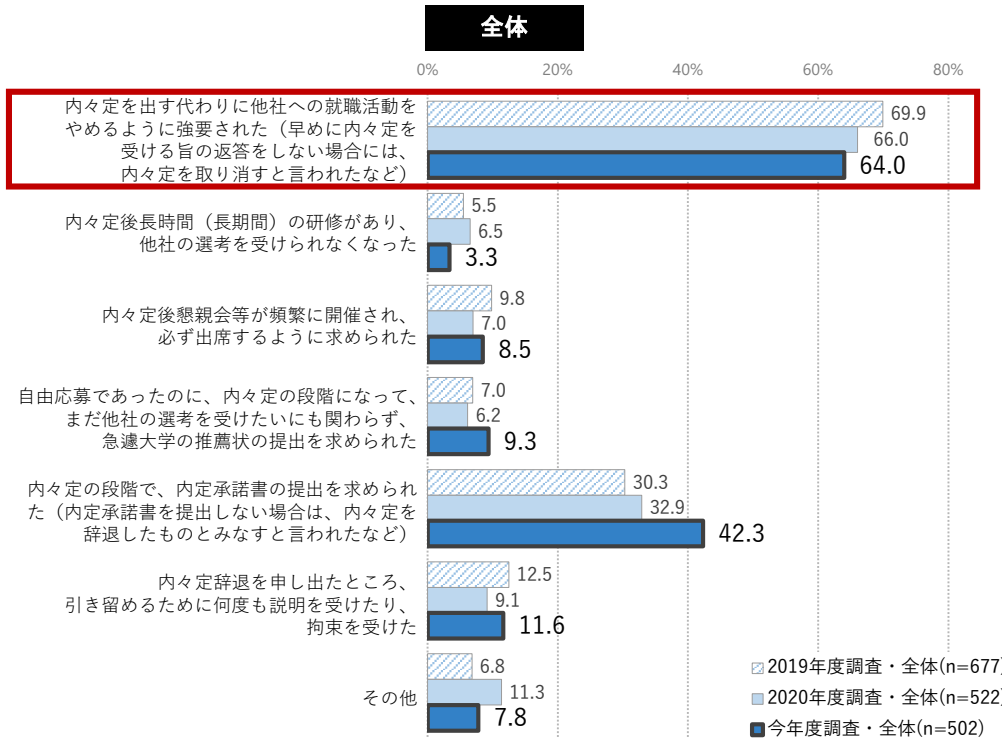
2020年度調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



※1：内々定を1社以上から受けた者を集計の対象とした。

②「オワハラ」の内容

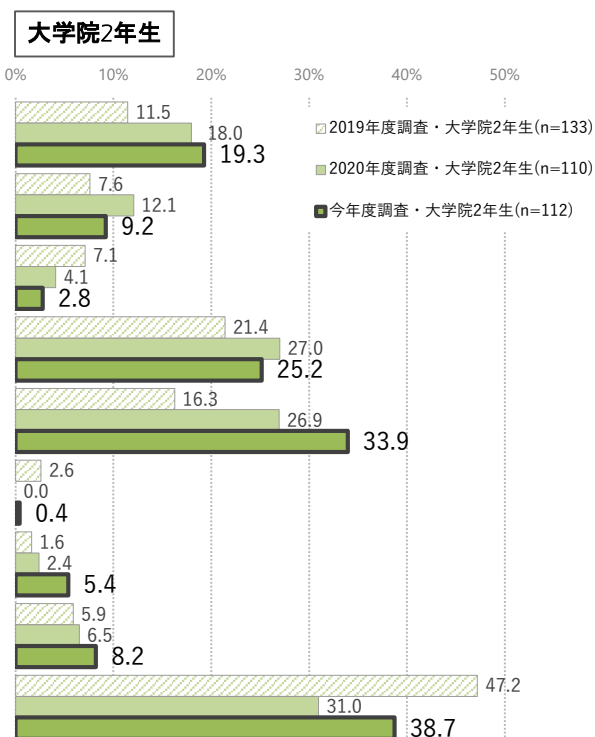
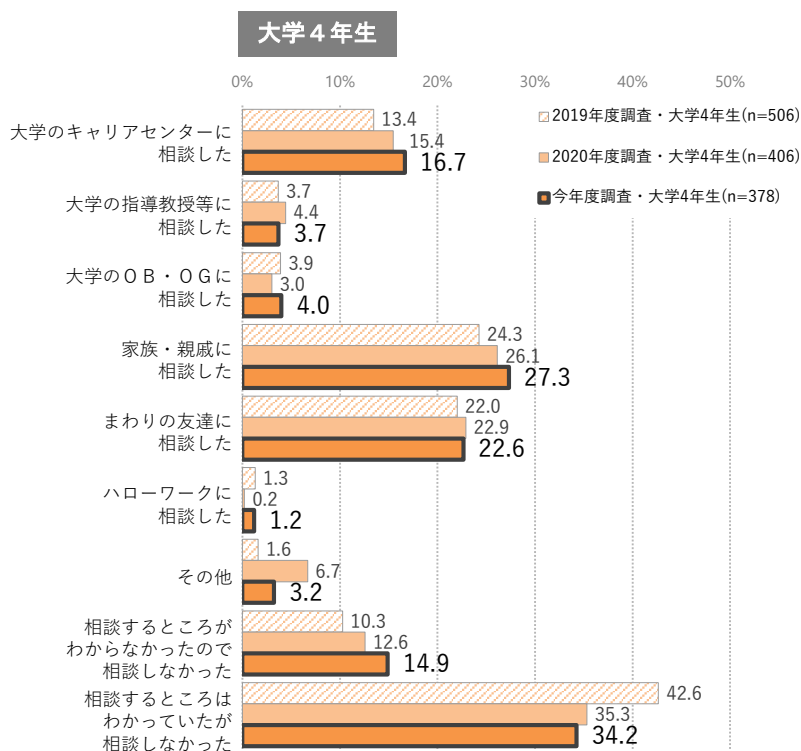
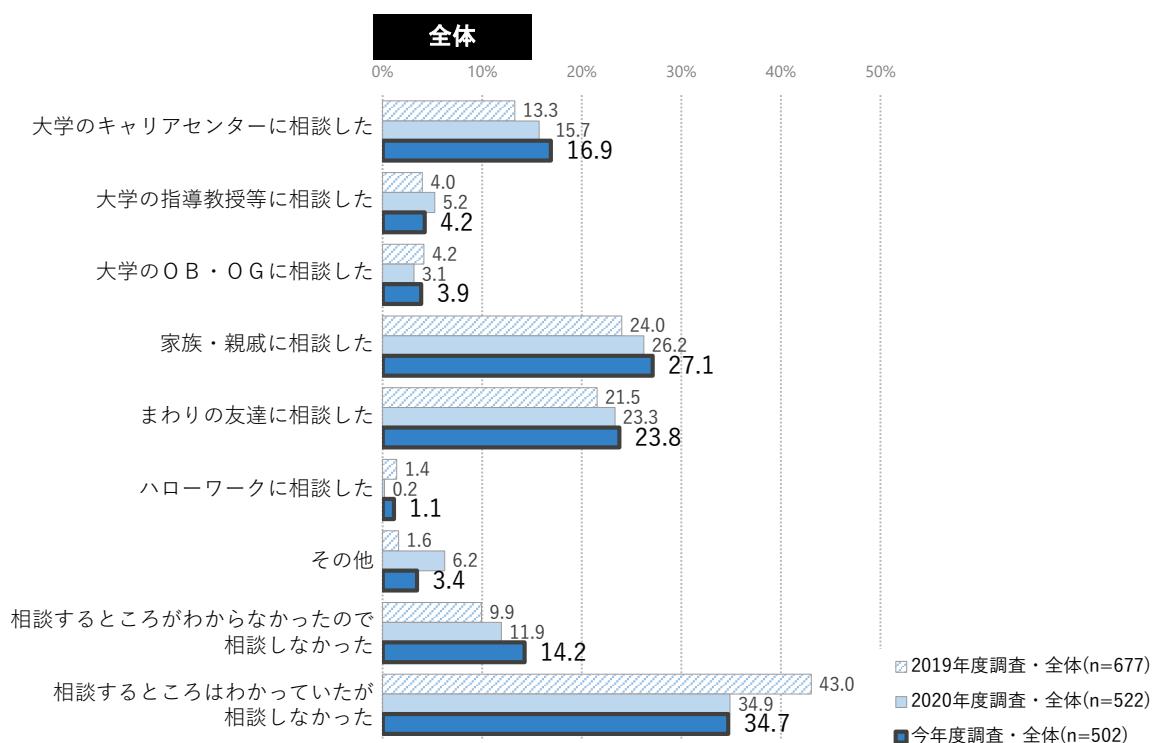
企業等から、「オワハラ」を受けたことがあると回答した者に関し、どのような行為を受けたかについては、「内々定を出す代わりに他社への就職活動をやめるように強要された（早めに内々定を受ける旨の返答をしない場合には、内々定を取り消すと言われたなど）」の回答割合が約6割となっている。次いで、「内々定の段階で、内定承諾書の提出を求められた（内定承諾書を提出しない場合は、内々定を辞退したものとみなすと言われたなど）」の回答割合が約4割となっており、2020年度調査と比べて高まっている。



③「オワハラ」への対応

企業からハラスメント的な行為を受けた際の対応については、「家族・親戚に相談した」の回答割合が約3割、「まわりの友達に相談した」の回答割合が約2割となっている。

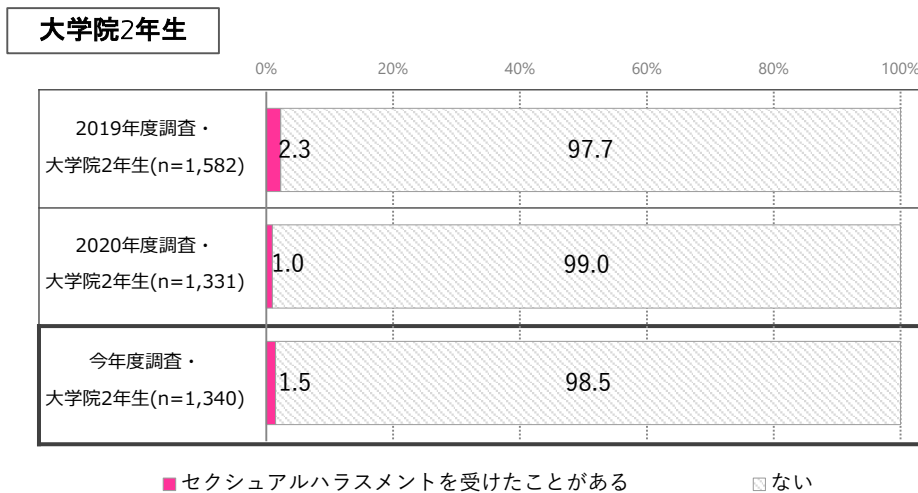
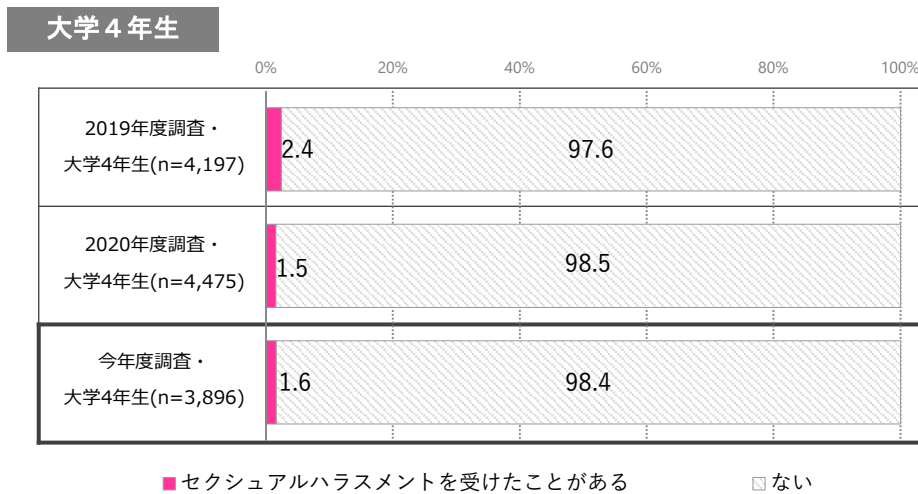
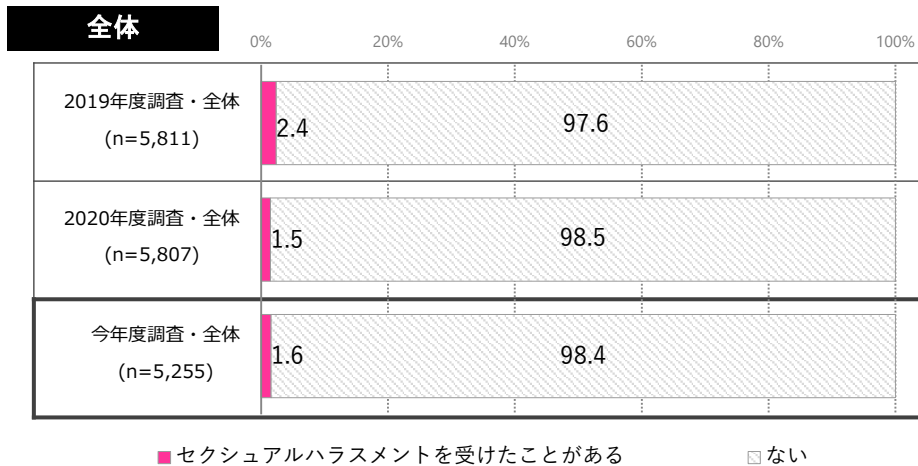
一方、「相談するところがわからなかったので相談しなかった」が約1割、「相談するところはわかっていたが相談しなかった」が約3割となっている。



(8) 「セクシュアルハラスメント」の状況

① 「セクシュアルハラスメント」行為の有無

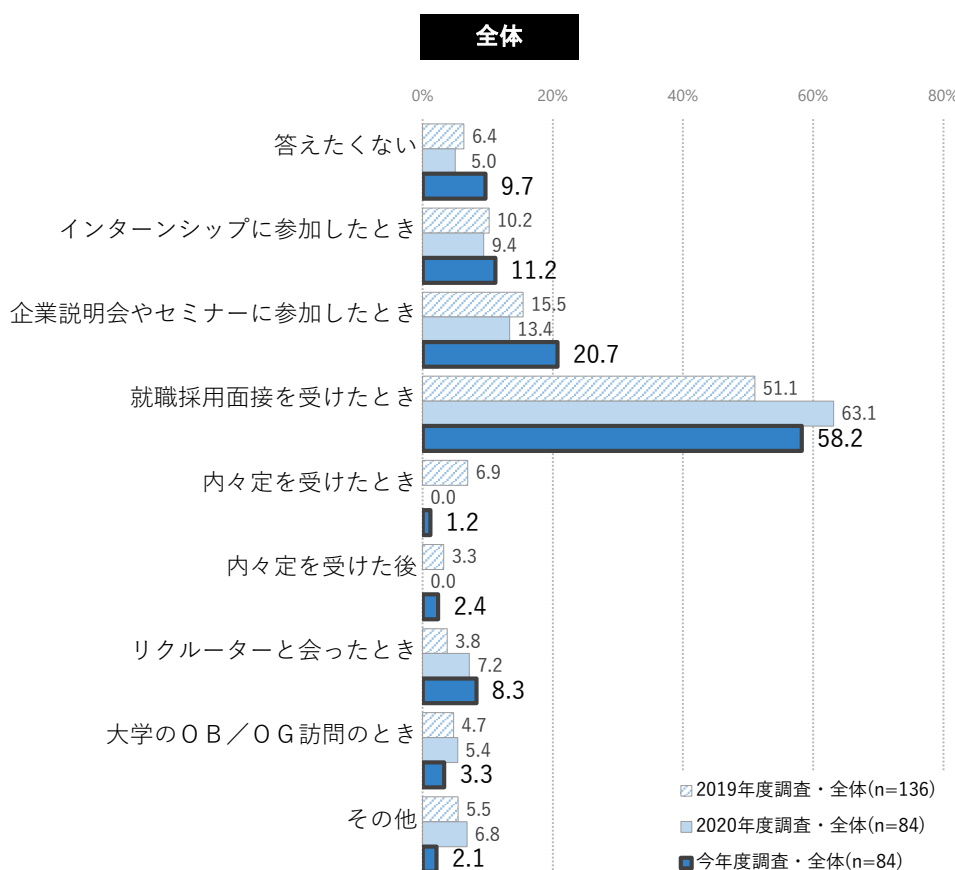
就職活動の過程において、セクシュアルハラスメント行為を受けたことがあるかについて、「ある」の回答割合は1.6%であった。



②「セクシュアルハラスメント」行為を受けたタイミング

セクシュアルハラスメント行為を受けたことがあると回答した者に関し※1、行為を受けたタイミングとしては、「就職採用面接を受けたとき」との回答が約6割と最も高く、次いで「企業説明会やセミナーに参加したとき」が約2割となっている。

2020年度調査と比較すると、「企業説明会やセミナーに参加したとき」の回答割合が高くなっている。



※1：以降の設問に関してはセクシュアルハラスメント行為を受けたことがあると回答した者を調査・集計の対象としたが、選択肢として「答えたくない」の項目を設けた上で、差し支えない範囲で回答いただくように案内をした（アンケート調査の最終の項目とし、当該調査項目に回答しなくても回答終了とすることが可能なように設定をした）。なお、集計対象者の数が必ずしも多いわけではないことから、ここでは、大学4年生・大学院2年生について合わせて集計した結果のみ参照した。